B6FJ-3491-01

テレビ操作ガイド

FMVの「テレビ機能」を詳しく紹介

マニュアルのご案内

『箱の中身を確認してください』

添付品の一覧です。
ご購入後、すぐに添付品が揃っているか確認してください。

『取扱説明書』

この1冊で、パソコンの取り扱い方法がわかります。

- 使用上のご注意
- パソコンを使うための準備
- 取り扱い方法
- ご購入時の状態に戻す方法
- Q＆A
- 各種お問い合わせ先

『テレビ操作ガイド』（本書）

テレビの操作方法をわかりやすく説明しています。

- テレビの見かた
- ディスクへの保存のしかた
- 録画のしかた
- テレビなどに関するQ＆A

『補足情報』（インターネットで公開）

『取扱説明書』の補足情報です。
細かい設定を変更する方法などを説明しています。

● 『補足情報』を表示する手順

1 インターネットに接続した状態で （スタート）→「すべてのプログラム」→「@メニュー」→「@メニュー」の順にクリックします。

2 @メニューの「安心・サポート」-「富士通のパソコンのマニュアルを見る」を選択し、「このソフトを使う」をクリックします。

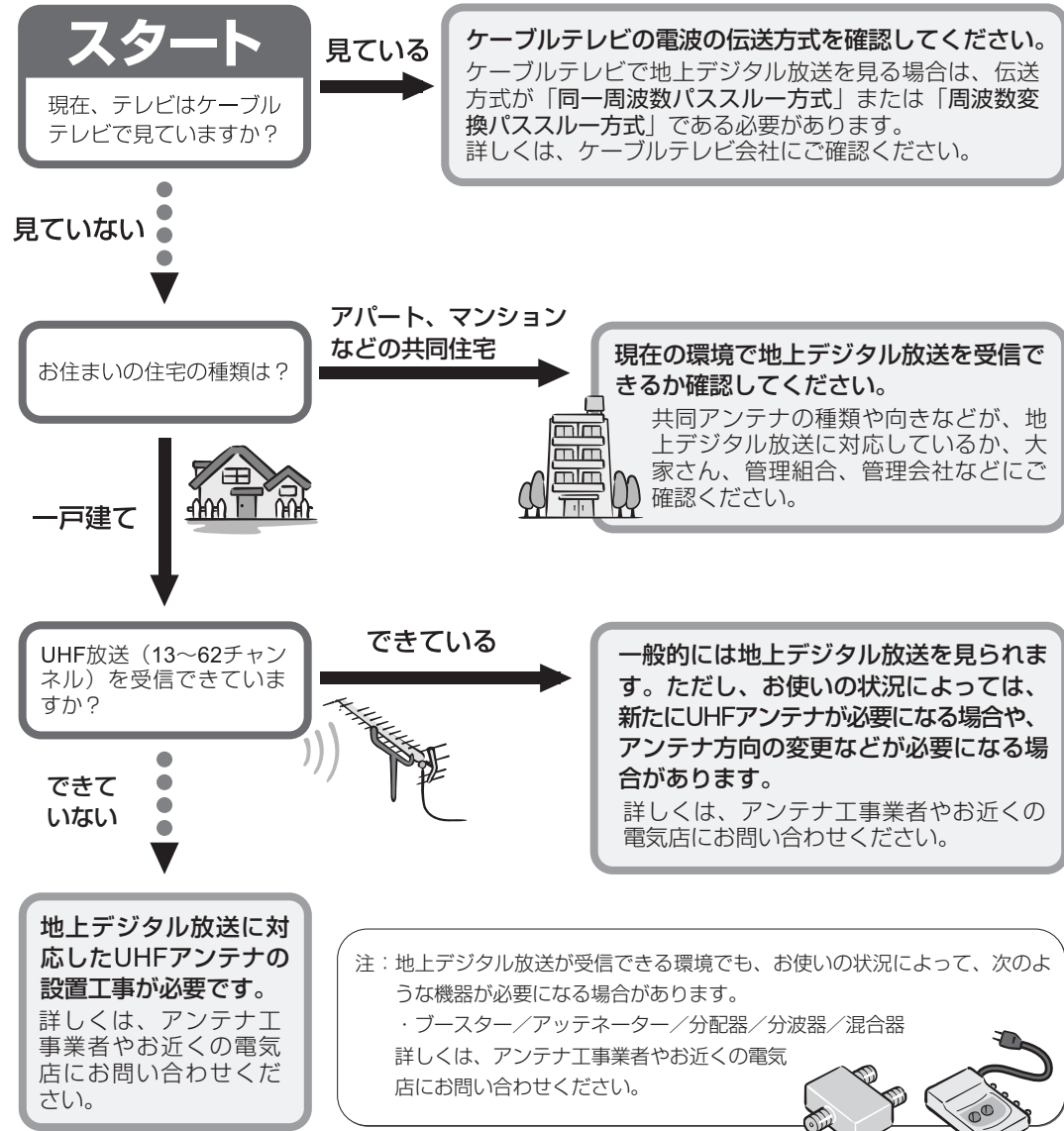
3 インターネットのマニュアル公開ページが表示されます。

この他にもお使いの機種により、マニュアルや重要なお知らせなどの紙・冊子類があります。

地デジを見るための準備は完了していますか？

受信環境の確認

地デジを受信できる環境かどうか確認しましたか？

まだ確認していなければ、次のチャートでチェックしてください。

スタート

現在、テレビはケーブルテレビで見ていますか？

見ている

ケーブルテレビの電波の伝送方式を確認してください。
ケーブルテレビで地上デジタル放送を見る場合は、伝送方式が「**同一周波数パススルー方式**」または「**周波数変換パススルー方式**」である必要があります。
詳しくは、ケーブルテレビ会社にご確認ください。

見ていない

お住まいの住宅の種類は？

アパート、マンションなどの共同住宅

現在の環境で地上デジタル放送を受信できるか確認してください。
共同アンテナの種類や向きなどが、地上デジタル放送に対応しているか、大家さん、管理組合、管理会社などにご確認ください。

一戸建て

UHF放送（13〜62チャンネル）を受信できていますか？

できている

一般的には地上デジタル放送を見られます。ただし、お使いの状況によっては、新たにUHFアンテナが必要になる場合や、アンテナ方向の変更などが必要になる場合があります。
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

できていない

地上デジタル放送に対応したUHFアンテナの設置工事が必要です。
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

注：地上デジタル放送が受信できる環境でも、お使いの状況によって、次のような機器が必要になる場合があります。
・ブースター／アッテネーター／分配器／分波器／混合器
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

（社）デジタル放送推進協会（略称：「Dpa／ディーピーエー」）のホームページも見てみよう！

http://www.dpa.or.jp/

デジタル放送に関する情報をご覧になれます。

・地デジとは？
・自分の住んでいるところに電波がきているのかなぁ
・未対応地域の放送開始予定など
・BS・110度CSデジタル放送について

（2009年11月現在）

目次 Contents

第1章 このパソコンでできること

第2章 テレビを見る

第3章 テレビを録る

第4章 録ったテレビ番組を再生する／保存する

第5章 困ったときのQ&A

索引

このマニュアルの表記について

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
Point	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照先を記述しています。
参照	参照していただきたいマニュアルを記述しています。
（冊子）	冊子のマニュアルを表しています。
Web	Webで公開している情報を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows® 7 Home Premium	Windows
Windows® Internet Explorer® 8	Internet Explorer
Corel® WinDVD®	WinDVD
スーパーマルチドライブ、Blu-ray Discドライブ	CD ／ DVDドライブ
ノートン ™ インターネット セキュリティ 2010	ノートン インターネットセキュリティ
ウイルスバスター ™ 2010	ウイルスバスター

操作説明について

このマニュアルでは、リモコンで操作できる箇所はリモコンを使った説明としています。マウスで操作する場合は、操作対象となるボタンや選択肢を直接クリックしてください。

例：

リモコンでの操作	マウスでの操作
（十字ボタン）で「確定」を選択し、（決定）を押します	「確定」をクリックします

商標および著作権について

安全上のご注意

このパソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報です

本製品でテレビ、DVD、ゲームなどの映像を見たり、本製品にご家庭のテレビなどを接続したりしてご利用になる場合には、部屋を明るくして、画面から充分離れてご覧ください。
映像を視聴する方の体質によっては、強い光の刺激や点滅の繰り返しを受けることによって一時的な筋肉の痙攣や意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。
また、このような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。

お使いになるうえでのご注意

大切な録画・録音・編集について

- 大切な録画・録音・編集を行う場合は、事前に試し録画・録音・編集をして、正しくできることをご確認ください。
- 本製品およびディスクを使用中に発生した不具合、もしくは本製品が使用不能になったことにより、録画・録音・編集されなかった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。

ハードディスクについて

パソコンに内蔵されているハードディスクは非常に精密な機器です。お使いの状況によっては、部分的な破損が起きたり、最悪の場合はデータの読み書きができなくなったりするおそれもあります。ハードディスクは、録画・録音した内容を恒久的に保存する場所ではなく、一度見るためや、DVDやBlu-ray Discに保存したりするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

停電などについて

- 本製品の動作中に停電などが起こると、録画ができなかったり、内蔵ハードディスクに保存してある録画データが損なわれたりすることがあります。大切な録画データは、DVDやBlu-ray Discに保存されることをお勧めします。
- 録画中やディスクへの保存中に停電などが起こると、録画や保存に失敗したり、ハードディスクから録画データの一部、またはすべてが削除されたりする場合があります。このとき、録画データの一部、またはすべてを、再生できない場合があります。

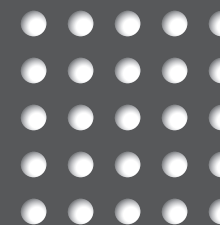
著作権について

本製品で録画・録音したものを、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、インターネット配信、レンタル(有償・無償を問わず)、販売することは、法律により禁止されています。

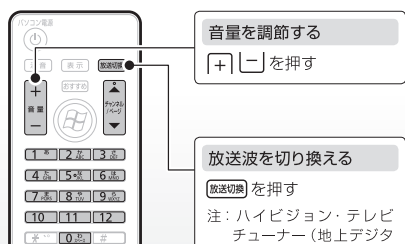
本製品におけるMPEG-4ライセンスに関する注意

本製品は、MPEG-4 ビジュアル規格特許ライセンスを管理するMPEG LA LLC から弊社が製造・販売のライセンス許諾を得て提供しているものです。MPEG-4 ビジュアル規格に準拠した態様で、本製品を個人が無償で使用することは、前記ライセンス許諾の範囲内であり許可されています。上記以外の使用については許可されておりません。

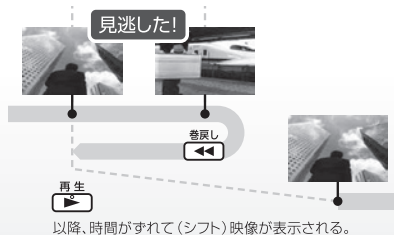
第1章

このパソコンでできること

このパソコンでは こんなことができます

リモコンで簡単操作

パソコン操作が苦手でも
リモコンだけで簡単に操作できます。

テレビを見る …………………… p22

見たいシーンを逃さない タイムシフトモード

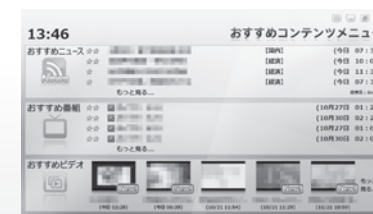
タイムシフトモードを使うと
見ている番組を一時停止したり
巻き戻したりすることができます。

タイムシフトモードで見る ……… p24

番組表から簡単予約

見やすい番組表から簡単に
目的の番組を録画予約できます。

予約録画をする ………………… p40

おすすめ自動録画

あらかじめ設定しておくことで
お好みにあった番組を
パソコンが自動で録画します。

おすすめ機能について ………… p42

見たい番組を探す

「ジャンル」や「出演者」などの
キーワードから
見たい番組を探すことができます。

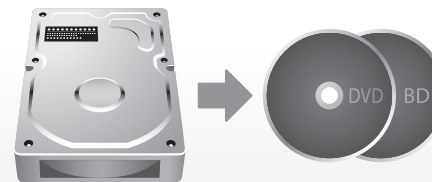
番組表を使う …………………… p28

双方向サービスで番組に参加する

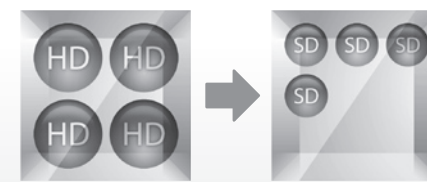
番組によっては、
双方向サービスを利用して
クイズなどに参加することができます。

データ放送を見る ……………… p27

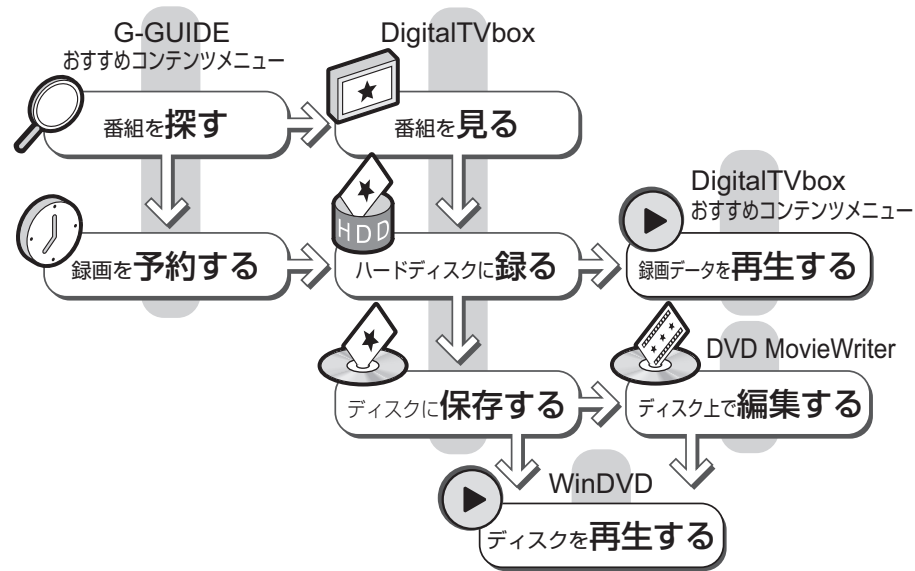
ディスクに録画番組を保存する

ハードディスクに録画した番組を
DVD や Blu-ray Disc に
保存することができます。

録ったテレビ番組をディスクに保存する … p50

画質変換して容量を小さくする

録画データの画質を変換し、
容量を小さくすることで
ハードディスクの空き容量を増やせます。

録った番組の容量を小さくする …… p60

テレビを楽しむためのソフトウェア

このパソコンには、テレビを楽しむために次のソフトウェアが用意されています。

ソフトウェアの使い方については、それぞれ次の項目をご覧ください。

目　的	参　照　先
番組を探す	●番組表で検索する（→P.29） ●おすすめ番組から探す（→P.42）
番組を予約録画する	●番組表で予約する（→P.40） ●おすすめ番組を自動で録画する（→P.43）
番組を見る	●テレビを見る（→P.22）
ハードディスクに録る	●見ている番組を録画する（→P.38） ●予約録画をする（→P.40）
ディスクに保存する	●録ったテレビ番組をディスクに保存する（→P.50）
録画データを再生する	●ハードディスクに録ったテレビ番組を再生する（→P.48） ●おすすめビデオを再生する（→P.49）
ディスク上で編集する	●DVD MovieWriter（ディーブイディームービーライター）で編集する 詳しくは、「DVD MovieWriter」のマニュアルをご覧ください。 参照 「DVD MovieWriterユーザーガイド」 （スタート）→「すべてのプログラム」→「DVD MovieWriter for FUJITSU」→「DVD MovieWriterユーザーガイド」の順にクリック
ディスクを再生する	●ディスクに保存したテレビ番組を再生する（→P.58）

お使いの機種をご確認ください

お使いの機種により、搭載されているテレビチューナーやドライブの種類が異なります。搭載されている機器により、操作方法や説明が異なる場合がありますので、お使いの機種の搭載状況を事前にご確認ください。
ここでは、このマニュアルの説明に必要な機能についてのみ記載しています。パソコンの詳しい仕様については、『取扱説明書』をご覧ください。

表中のマークの意味

デジタル3 ：ハイビジョン・テレビチューナー（地上・BS・CSデジタル放送用）
地上デジタル放送と、BS・110度CSデジタル放送を視聴、録画できます。

デジタル1 ：ハイビジョン・テレビチューナー（地上デジタル放送用）
地上デジタル放送を視聴、録画できます。

Blu-ray ：Blu-ray Discドライブ
録画した番組をBlu-ray Discに保存できます。

お使いのパソコンの機種名（品名）を、梱包箱に張り付けられている保証書で確認し、次の表の☑欄に印を付けてください。

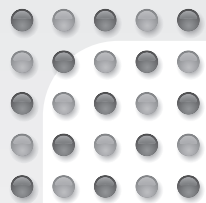
■ FMV-DESKPOWER

☑	機種名（品名）	デジタル3	デジタル1	Blu-ray
☐	F/G90D	○	―	○
☐	F/G90N	○	―	○
☐	F/G87N	○	―	―

Point 放送波豆知識

●**地上デジタル放送：**
2003年12月から、地上波のUHF帯を使用して開始されたデジタル放送です。詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2009年11月現在）をご覧ください。

●**BSデジタル放送：**
2000年12月から、従来のWOWOW、NHK-BSといったBS放送（BSアナログ放送）に加えて、新たに始まった、放送衛星（BS）を使用した放送です。詳しくは、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2009年11月現在）をご覧ください。

●**110度CSデジタル放送：**
2002年3月から、複数の放送事業者により順次開始された、通信衛星（CS）を用いた衛星放送の一種です。ほとんどの放送が有料です。

対応している視聴／録画機能

お使いの機種によって、対応している視聴／録画機能が異なります。このページの表で、お使いの機種の機能をご確認ください。

対応している視聴機能

お使いの機種	機能				
	CATV パススルー	字幕放送	データ放送	双方向サービス	電子番組表（EPG）
全機種	○	○	○	○	○

Point 用語の意味

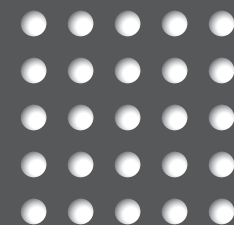
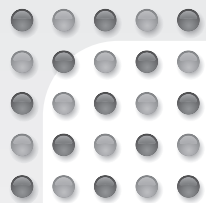
- **CATVパススルー：** ケーブルテレビ（CATV）会社が地上デジタル放送を配信するときに使用する、周波数変換パススルー方式と呼ばれるデータ伝送方式です。ご契約のケーブルテレビの伝送方式は、ケーブルテレビ会社にご確認ください。
- **データ放送：** 文字や図などで情報を提供する放送です。
- **双方向サービス：** 通信回線を利用して、データを送受信する機能です。

対応している録画機能

■ FMV-DESKPOWER

お使いの機種	ハードディスクへの録画	予約録画／番組表	リアルタイム長時間録画 注1	ダブル録画
F/G90D	○	○	○	○
F/G90N	○	○	○	○注2
F/G87N	○	○	○	○注2

注1：画質モード（→P.44）を変更することで、ハードディスク容量を抑えながら長時間録画ができる機能です。
注2：インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART（ウェブマート）」で「カスタムメイドモデル」をご購入されたときに、「地上・BS・110度CSデジタル（ハイビジョン・ダブル録画対応／AVCREC対応）」を選択した場合

第2章 テレビを見る

テレビを見るための準備をする

このパソコンでテレビ番組を見るためには、デジタルテレビと同様の準備が必要です。
ここでは、テレビを見るための準備について説明します。

地上デジタル放送を見るための準備

1 お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内か確認する

2 アンテナケーブルを接続し、B-CASカードをセットする

3 DigitalTVboxの初回設定をする

デジタル放送には、地上デジタル放送、BSデジタル放送、および110度CSデジタル放送があります。

BSデジタル放送、110度CS放送を見るためには、事前に放送事業者と受信契約をする必要があります。既に契約をしている場合は、新たに契約をする必要はありません。また、個人でアンテナを設置している場合は、アンテナに電源を供給する必要があります。詳しくは、BS・110度CSデジタル放送用アンテナへの電源供給について（P.30）をご覧ください。

1 お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内か確認する

社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2009年11月現在）で、お住まいの地域が地上デジタル放送のエリア内かどうか確認することができます。

2 アンテナケーブルを接続し、B-CASカードをセットする

『取扱説明書』をご覧になり、アンテナケーブルの接続とB-CASカードのセットを行ってください。

B-CASカードについて

- デジタル放送の放送信号は暗号化されており、受信機で暗号を解除する必要があります。B-CASカードには、この暗号を解除するためのICチップが入っています。
- B-CASカードについての詳細は、カードが貼り付けられていた台紙をご覧ください。
- B-CASカードは、お客様と（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）社との直接契約に基づき使用するものです。B-CASカード使用許諾契約約款に従って管理してください。
- パソコンの修理時は、B-CASカードを取り外し、お客様の責任で保管してください。
- B-CASカードの紛失・盗難時や、破損したり汚れたりした場合は、B-CAS社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（B-CAS）　カスタマーセンター
電話番号：0570-000-250［IP電話の場合 045-680-2868］
受付時間：10:00～20:00

3 DigitalTVboxの初回設定をする

このマニュアルでは、リモコンで操作できる箇所はリモコンを使った説明としています。マウスで操作する場合は、操作対象となるボタンや選択肢を直接クリックしてください。

例：

リモコンでの操作	マウスでの操作
◎で「確定」を選択し、(決定)を押します	「確定」をクリックします

1 (テレビ)を押します。

初めて「DigitalTVbox」を起動した場合は、使用許諾書の画面が表示されます。その場合は、使用許諾書をお読みになり、◎で「はい」を選択し、(決定)を押します。
「DigitalTVbox」の初回設定の画面が表示されます。

2 開始画面で(決定)を押し、初回設定を開始します。

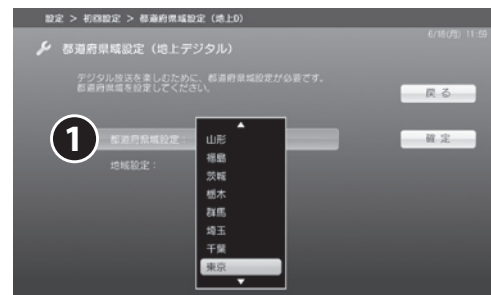
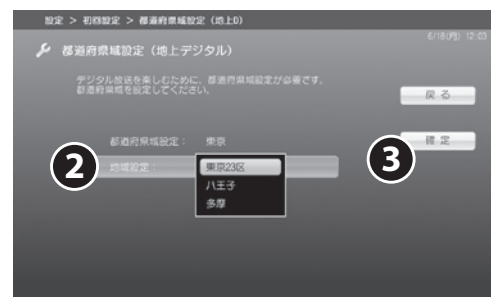
Point マウスでの操作

- マウスを使って起動する場合は、(スタート)→「すべてのプログラム」→「PIXELA」→「DigitalTVbox」→「DigitalTVbox」の順にクリックします。
- 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、マウスで「はい」をクリックします。「はい」が表示されず「管理者アカウント」が表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「OK」をクリックします。

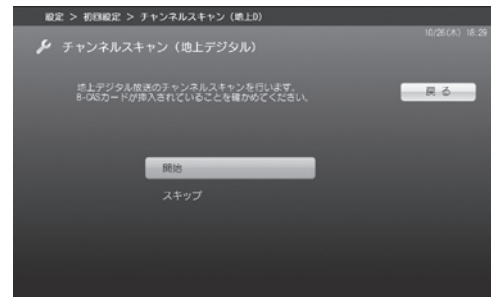
3 お住まいの地域の「郵便番号」を設定します。

1.「郵便番号」が選択されている状態で（決定）を押します。入力域が表示されたらリモコンやキーボードで郵便番号を入力し、（決定）を押します。郵便番号の「−」は入力不要です。
例：〒211−8588 →「2118588」

2.「確定」を選択し、（決定）を押します。

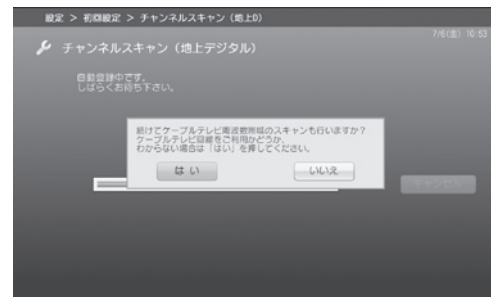
4 お住まいの「都道府県域」と「地域」を設定します。

1.「都道府県域設定」を選択し、お住まいの都道府県域を選択し、（決定）を押します。

2. 下段の「地域設定」を選択し、最寄りの地域を選択し、（決定）を押します。

3. 最後に「確定」を選択し、（決定）を押します。

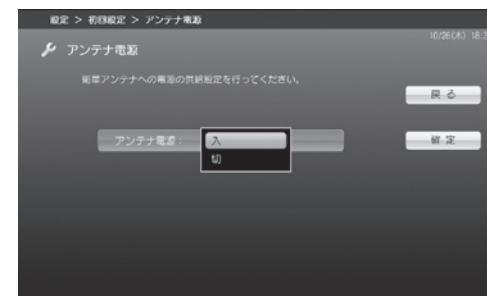
5 地上デジタル放送が開局しているか選択します。

6 「開始」を選択し、（決定）を押します。

次のメッセージが表示された場合は、アンテナケーブルが正しく接続されているかを再確認してください。詳しくは、「「DigitalTVbox」でメッセージが表示される」（→P.78）をご覧ください。

信号が受信できません。天候が悪いか、アンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。
コード： E202

7 ケーブルテレビのチャンネルスキャンを行います。

「はい」を選択し、（決定）を押します。

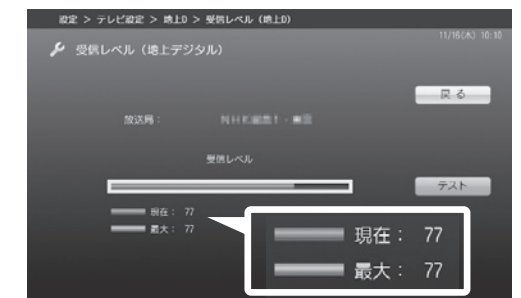
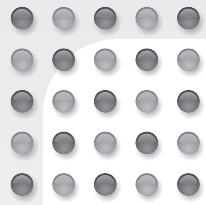
8 「チャンネルスキャンが終わりました。」と表示されたら、（決定）を押します。

9 アンテナへの電源供給の設定を行います。

地上デジタル放送のみを視聴する場合は、「切」を選択します。
BS・110度CS放送を視聴する場合は、「アンテナ電源の供給について」（→P.30）をご覧になり、設定を行ってください。

10 「確定」を選択し、（決定）を押します。

これで初回設定は完了です。

Point 受信レベルのテスト

「DigitalTVbox」では、デジタル放送の受信レベルをテストし、アンテナの角度が最適かどうかを確認することができます。
「DigitalTVbox」の「トップメニュー」→「設定」→「テレビ設定」→「地上デジタル」→「受信レベル」の順にクリックし、放送局を選択して「テスト」をクリックすると、受信レベルが表示されます。
受信レベルが60 前後（またはそれ以上）になっていればアンテナの角度が最適の状態で、映像を正しく表示できます。なお、ここで表示される受信レベルの数値は、具体的な信号の強度を示すものではありません。

受信レベルが低い場合は、「トップメニュー」→「設定」→「テレビ設定」→「その他」→「アッテネーター機能」の設定を変更することで、改善されることがあります。

テレビを見るときの注意

ここでは、テレビ視聴・録画用ソフトウェア「DigitalTVbox」をお使いになるときに注意していただきたいことを説明します。

電波の受信状態について

- 画像および音声の品質は、アンテナの電波受信状況により大きく左右されます。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が弱い場合や、室内アンテナをご利用の場合などは、受信状態が悪く、画質に影響が出ることがあります。この場合はご購入の販売店へ相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをお使いになる場合は、アンテナブースターのマニュアルをご覧ください。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が強すぎる場合は、受信レベルが飽和し、画質に影響が出ることがあります。この場合は、「トップメニュー」→「設定」→「テレビ設定」→「その他」→「アッテネーター機能」の設定を変更することで、改善されることがあります。それでも改善できないときは、ご購入の販売店へ相談されるか、市販のアッテネーターをご購入ください。アッテネーターをお使いになる場合は、アッテネーターのマニュアルをご覧ください。

テレビの視聴や録画、再生などに関する注意

- 「DigitalTVbox」は、他のソフトウェアと同時に使ったり、使用中にスクリーンセーバーを動作させたりしないでください。
  「DigitalTVbox」をお使いのときに、「Windows Media Player(ウィンドウズメディアプレーヤー)」など他のソフトウェアやスクリーンセーバーが動作していると、音声が途切れる、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- テレビ視聴中は、「WinDVD」を起動しないでください。
  「DigitalTVbox」でテレビ視聴中に「WinDVD」を起動すると、「画面を表示できません。他の映像表示ソフトを終了してください。」と表示され、「DigitalTVbox」の画面表示が終了します。
- テレビの視聴をしているときに、使用状況やシーンによっては、映像がスムーズに再生されない場合があります。
- シャットダウンや再起動をする場合や、スリープや休止状態にする場合は、リモコンの【終了】を押して「DigitalTVbox」を終了してください。画面右下の通知領域にある をクリックし、表示される「DigitalTVbox」アイコンが待機状態表示( )になります。

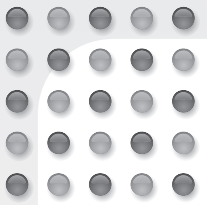
- ダブル録画に対応していない機種(P.14)の場合は、録画中に別番組を視聴できません。
  ダブル録画に対応している機種の場合は、録画を行っていない側のテレビチューナーで、別の番組を視聴できます。ただし、画質モード(P.44)を「最高画質」以外に設定して録画を行っている場合、テレビチューナーを切り換えて別の番組を視聴したり、ハードディスクの録画データを再生したりすることはできません。
- デジタル放送の5.1チャンネル音声は、パソコン本体のスピーカーから出力すると、2チャンネルのステレオ音声に変換(ダウンミックス)されます。
- 電源プランの設定は「バランス」または「高パフォーマンス」でお使いください。
  (スタート)→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「電源オプション」の順にクリックすると、電源プランを設定するウィンドウが表示されますが、ここの設定は「バランス」または「高パフォーマンス」にしてください。
  上記以外の設定に変更した場合、映像がコマ落ちすることがあります。

その他の注意

- 画面の設定を変更しないでください。
  「DigitalTVbox」の使用中に、画面の各種設定を変更しないでください。
  また、画面の解像度と発色数は、ご購入時の状態から変更せずにお使いください。ご購入時の設定から変更している場合は、デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューの「画面の解像度」をクリックして、設定しなおしてください。
  ご購入時の設定については、次のマニュアルで「仕様一覧」を確認してください。

参照 **画面の解像度/発色数**

『取扱説明書』

- 定期的にデフラグを実行してください。
  ハードディスクへの録画を頻繁に行うと、ハードディスク内のファイルが断片化され、ハードディスクへの読み書き速度が低下します。定期的なデフラグの実行をお勧めします。

テレビを見る

ここでは、テレビの起動／終了方法と、基本的なテレビの操作を説明します。
「リモコンでの操作」と「マウスでの操作」ができます。

リモコンでの操作

通常のテレビと同様に、パソコン画面付近の「リモコン受光部」に向けてリモコンを操作する方法です。

マウスでの操作

通常のパソコン操作と同様にマウスを使い、「DigitalTVbox」を起動し、操作パネルの各ボタンを操作する方法です。

テレビの終了について

リモコンで終了した場合や、画面右上の（待機モード）をクリックした場合は、待機モードになります。テレビを完全に終了するには、クイックメニュー（P.26）から「DigitalTVboxの終了」を選択します。ただし、完全に終了すると、予約録画が実行されませんのでご注意ください。

録画中に別の番組を視聴する

ダブル録画に対応している機種（P.14）の場合、録画を行っているテレビチューナーから、もう一方のテレビチューナーに表示を切り換えると、録画している番組とは別の番組を視聴できます。テレビチューナーの切り換えは、クイックメニュー（P.26）のレコーダー切換から行います。ただし、画質モード（P.44）を「最高画質」以外に設定している場合は、録画しながら別の番組を視聴することはできません。

リモコンで操作する

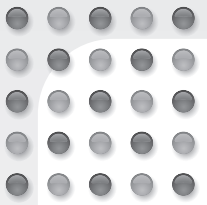
マウスで操作する

テレビを見る

（スタート）→「すべてのプログラム」→「PIXELA」→「DigitalTVbox」→「DigitalTVbox」の順にクリック

テレビを終了する

（待機モード）をクリック

注：「コンパクトモード（縮小表示）」の場合は画面右上に、「フルスクリーンモード（全画面表示）」の場合は、マウスポインターを画面上部へ持っていくことで画面右上に表示されます。

マウスで操作する場合は、「操作パネル」を使用します。「操作パネル」は、テレビ画面をクリックするか、マウスポインターを画面下部に持っていくと表示されます。

タイムシフトモードで見る

タイムシフトモードを使うと、見ている番組を一時停止したり、巻き戻したりすることができます。放送の流れる時間軸を気にすることなく、見たいタイミングで映像を楽しむことができます。

ライブモード

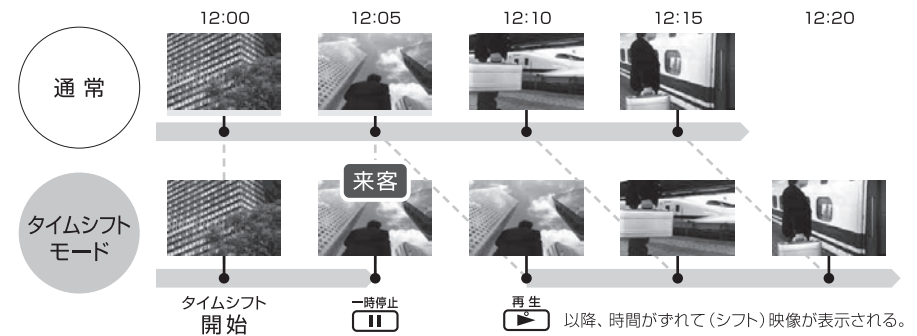
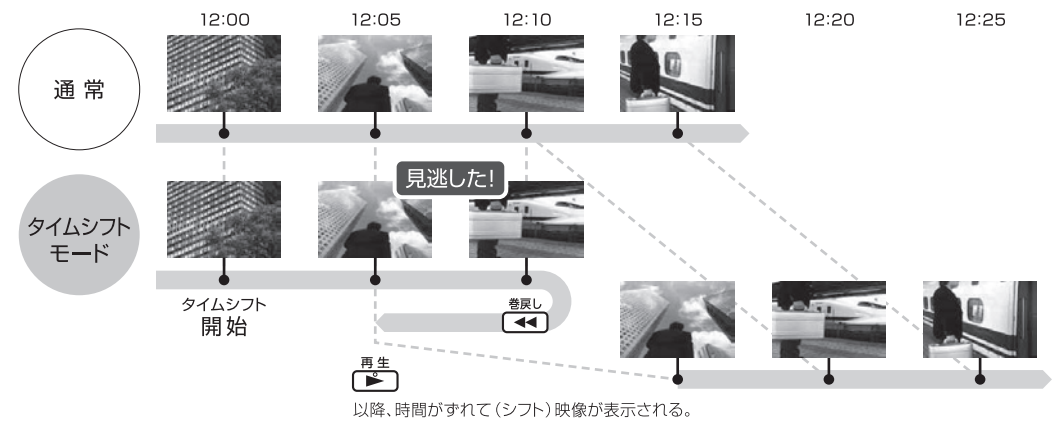
従来のテレビと同様に、テレビ放送の映像をそのまま表示する通常のモードです。

タイムシフトモード

放送中の映像を一時的に録画しながら表示するモードです。録画した番組を見ていることになるので、一時停止したり、巻き戻したりして見ることができます。

タイムシフトモードに関する注意

- タイムシフトモードにする前の映像をさかのぼって見ることはできません。
- チャンネルを切り替える前の映像を戻して見ることはできません。
- タイムシフト時間（現時点からさかのぼれる時間）は、ご購入時は「90分」に設定されていて、「5分」～「90分」の間で変更することができます。詳しくは「DigitalTVbox 取扱説明書」をご覧ください。
- タイムシフトモード中は、録画番組を再生できません。また、ダブル録画に対応している機種（→P.14）の場合、テレビチューナーの切り換えもできません。

■タイムシフトモード中に —— 一時停止・再開

■タイムシフトモード中に —— 巻き戻し

タイムシフトモードの操作

■タイムシフトモードへの切り替え

リモコンで操作する

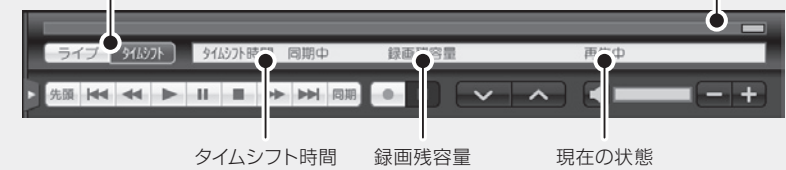
タイムシフト を押す

マウスで操作する

タイムシフト をクリック

■リモコンを使った操作（タイムシフトモード中）

操作	ボタン	操作	ボタン	操作	ボタン
巻き戻す	巻戻し ◀◀	一時停止する	一時停止 ❚❚	早送りする	早送り ▶▶
約30秒巻き戻す	逆スキップ ❙◀◀	タイムシフトモード終了	停 止 ■	約30秒早送りする	順スキップ ▶▶❙

■操作パネル（タイムシフトモード中）

項目	説明
タイムシフト時間	視聴している時点と放送中の時点との間に、どれくらい時間差があるかを表示します。
録画残容量	録画できる残り時間を表示します。 ※タイムシフトモードでは一時的に録画を行うため、通常の録画と同様、保存先に空き容量が必要です。
シークバー	現在視聴している時点を表示します。マウスでスライダー（緑の棒）を移動させることで、任意の時点に移動できます。
ライブ／タイムシフト切り換えボタン	ライブモードとタイムシフトモードを切り換えます。

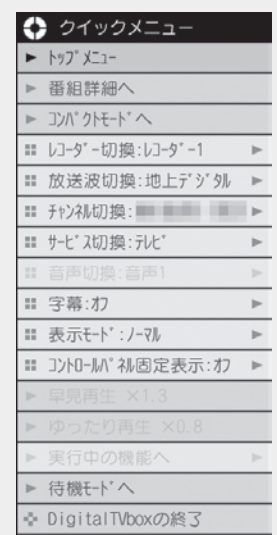
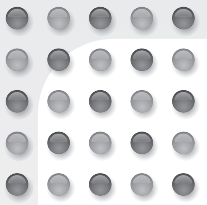
字幕や音声などの設定を変更する（クイックメニュー）

クイックメニューを使うと、簡単に字幕や音声の切り換えなどを行うことができます。

クイックメニューの使い方

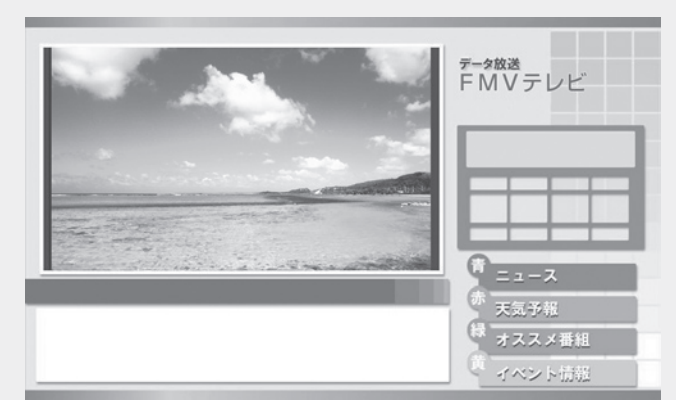
1. テレビ画面が表示されている状態で、【サブメニュー】を押します。
2. 【十字キー】で設定したい項目を選択、設定の変更を行います。
3. もう一度、【サブメニュー】を押すと、クイックメニューが終了します。

マウスの場合

マウスを使って操作する場合は、テレビの画面上で右クリックすると、クイックメニューが表示されます。

データ放送を見る

データ放送とは ――― 番組の情報や、地域の天気予報や交通情報、最新のニュースなどの情報を見ることのできるサービスです。番組によっては、インターネットなどの回線を利用して、クイズに答えるなど、番組に参加することができます。

- BS・110 度CS デジタル放送の視聴ができない場合は、BS・110 度CS デジタル放送の番組表は利用できません。
- 画質モード（→P.44）を「最高画質」以外の画質モードで録画した場合は、録画番組にデータ放送のデータは保存されません。
- 画質変換（→P.60）を行った場合は、録画番組にデータ放送のデータは保存されません。
- 双方向サービスの利用には、有線LAN によるインターネット接続が必要です。パソコンがインターネットに接続しているかどうか、確認してください。
- 双方向サービスは、インターネット接続を利用してデータの送受信を行う形式が中心ですが、BS デジタル放送、および110度CSデジタル放送の一部の番組では、電話回線を使った双方向サービスが提供されています。この双方向サービスをご利用になる場合は、外付けモデムを別途ご用意ください。
- 双方向サービスを利用する場合は、「DigitalTVbox 取扱説明書」をご覧ください。

データ放送の見方

1. テレビ画面が表示されている状態で、【dデータ】を押します。
2. 【十字キー】、【決定】、【青】、【赤】、【緑】、【黄】などのボタンで操作します。データ放送の画面では、マウスでの操作はできません。
3. もう一度【dデータ】を押して、データ放送を終了します。

番組表を使う

このパソコンには、放送波やインターネットからテレビ番組の情報を取得し、表示するための電子番組表が用意されています。

番組表を使うと、次のことができます。
●番組表を見る
●番組を探す
●番組表で録画予約する（予約録画の方法については、「予約録画をする」（➔P.40）をご覧ください。）

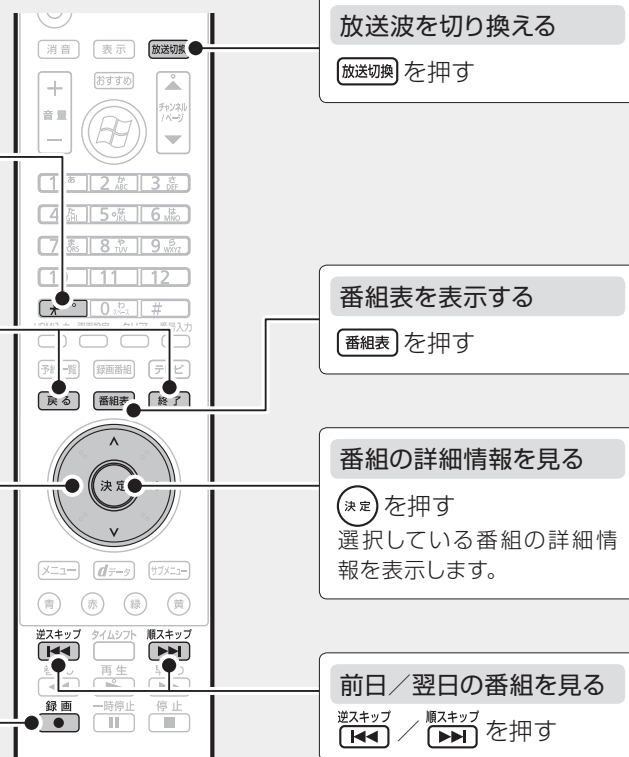
初めて番組表を使う場合

「G-GUIDE」を初めて起動する場合は、「使用許諾同意書」に同意していただく操作が必要です。この操作は、マウスで行います。リモコンはお使いになれません。

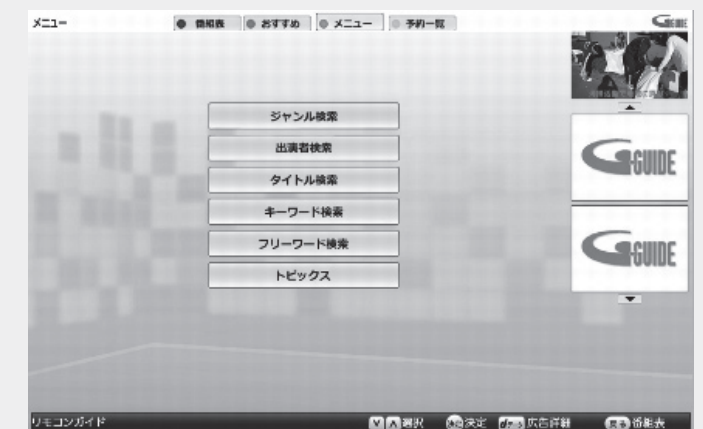
1. （スタート）→「すべてのプログラム」→「Panasonic」→「G-GUIDE(R) for Windows」→「G-GUIDE(R) for Windows」の順にクリックします。
2. 「使用許諾同意書」をお読みになり、「同意する」をクリックします。
3. 「はい」をクリックします。

しばらくすると、番組データが取得され、「G-GUIDE」の番組表が表示されます。

・BS・110 度CS デジタル放送の視聴ができない場合は、BS・110 度CS デジタル放送の番組表は利用できません。
・番組データは自動的に受信されますが、受信に時間がかかる場合があります。また、受信中は自動的にスリープや休止状態にはなりません。
・番組表には、取得できたチャンネルの番組のみ表示されます。
・アンテナ接続だけでも番組データの取得はできますが、手動で最新の番組データを取得する場合はインターネット接続が必要です。パソコンがインターネットに接続しているかどうか、確認してください。
・一部の番組が番組表に表示されないことがあります。この場合は、番組表の画面で「最新データ取得」を選択し、インターネットから番組データを取得することで、解決できることがあります。

番組表の操作

番組を探す

「ジャンル」や「出演者」などのキーワードから、見たい番組を探すことができます。

1. 番組表を起動した状態で、(緑)を押します。
2. で何をキーに検索するかを選択し、(決定)を押します。
3. や文字ボタンで番組を選びます。
4. 予約を行う場合は、予約したい番組を選択し、(決定)を押します。予約についての詳細は、「予約録画をする」（➔P.40）をご覧ください。

BS・110度CSデジタル放送用の

アンテナ電源の供給について

BS･110度CSデジタル放送用アンテナに供給する電源を、「アンテナ電源」といいます。電源がアンテナに供給されないと、映像が表示されません。

お住まいの住宅の種類は？

一戸建て住宅

アパート・マンションなどの共同住宅

共同アンテナが設置されている場合は、各家庭からの電源供給は不要です。

アンテナ電源を供給可能な、液晶テレビなど他のデジタル機器とアンテナを“共有”している

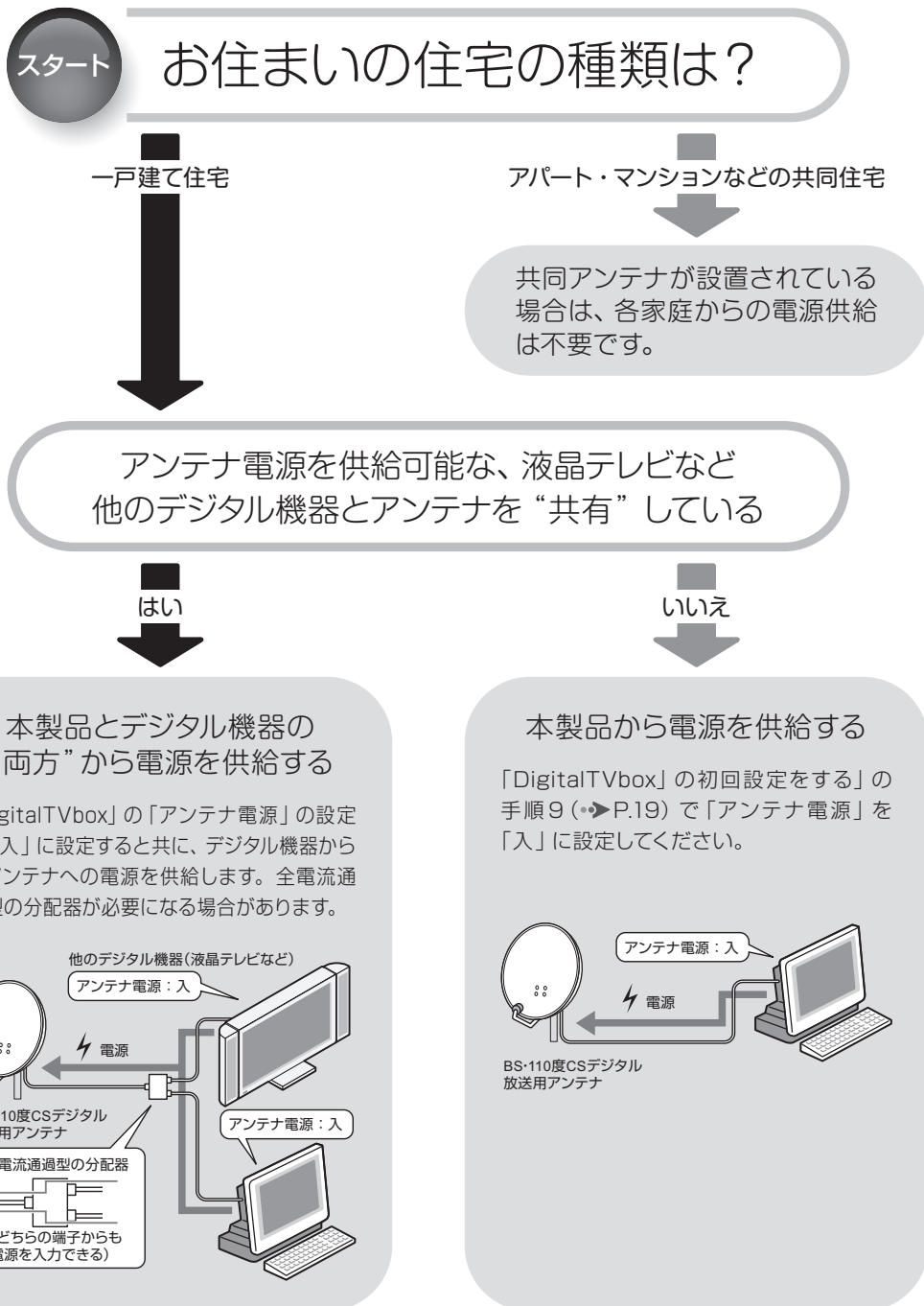
はい

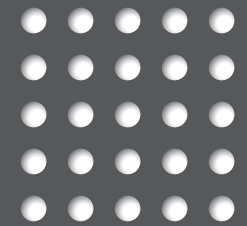
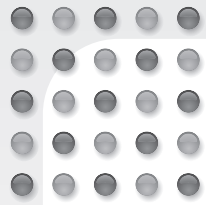
いいえ

本製品とデジタル機器の“両方”から電源を供給する

「DigitalTVbox」の「アンテナ電源」の設定を「入」に設定すると共に、デジタル機器からもアンテナへの電源を供給します。全電流通過型の分配器が必要になる場合があります。

本製品から電源を供給する

「DigitalTVbox」の初回設定をする」の手順9（P.19）で「アンテナ電源」を「入」に設定してください。

第3章

テレビを録る

テレビを録画するときの注意

ここでは、テレビを録画するときに注意していただきたいことを説明します。

録画全般について

画質モードに関する注意

●録画時に画質モード（P.44）を選択できます。画質モードについては、次の点にご注意ください。

- 標準（SD）放送の番組は、画質モードの設定にかかわらず、放送波がそのまま録画されます（画質変換や圧縮などは行われず、「最高画質」として録画されます）。
- タイムシフトモード（P.24）に切り換えて視聴している状態で録画を開始した場合、画質モードの設定にかかわらず、「最高画質」として録画されます。

視聴中の別番組録画について

●ダブル録画に対応している機種（P.14）の場合は、一方のテレビチューナーで視聴中のときも、もう一方のテレビチューナーで別の番組を録画することができます。
画質モード（P.44）を「最高画質」以外に設定している場合は、視聴しながら別番組を録画することはできません。

シャットダウン、再起動、スリープや休止状態に関する注意

●シャットダウンや再起動をしたり、スリープや休止状態にしたりしないでください。
録画中に、シャットダウンや再起動をしたり、スリープや休止状態にしたりすると録画が失敗する原因となります。
ご購入時の設定では、予約録画終了後にスリープや休止状態になる、または電源が切れます。

●スリープになるまでの時間を変更しないでください。
予約録画をするときは、コンピューターがスリープになるまでの時間をご購入時の設定から変更しないでください。ご購入時の設定から変更している場合は、（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「電源オプション」の順にクリックし、ウィンドウ左の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をクリックして表示される画面で、設定を元に戻してください。
変更した場合、予約録画に失敗することがありますのでご注意ください。

参照 スリープ／休止状態の設定の変更
Web『補足情報』

ウイルススキャンに関する注意

●録画中は、ウイルススキャンを行わないでください。
テレビの録画中にウイルススキャンが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。
予約録画を行う場合は、同じ時間帯に自動スキャン機能が動作しないようご注意ください。

参照 セキュリティ対策ソフトの設定
『取扱説明書』

電源ボタンに関する注意

●録画中は、パソコンの電源ボタンを押さないでください。
録画が中断されます。また、故障の原因となる場合があります。
また、電源ボタンを４秒以上押し続けてパソコンを強制終了すると、予約録画の時間になってもパソコンが自動起動せず、予約録画に失敗することがあります。強制終了した場合は、再度電源を入れて、（スタート）→ シャットダウン の順にクリックし、電源を切ってください。

周辺機器やメモリーカードの取り扱いについて

●テレビ番組の録画中、または予約録画の待機中のときは、周辺機器の取り付け／取り外しや、メモリーカードの抜き差しなどをしないでください。
録画に失敗する原因となります。

WinDVDに関する注意

●録画中は、「WinDVD」を起動しないでください。
録画中に「WinDVD」を起動すると、「画面を表示できません。他の映像表示ソフトを終了してください。」と表示され、「DigitalTVbox」の画面表示が終了します。録画中の場合は、画面表示を終了した状態で録画を続けます。

録画したデジタル放送番組に関する注意

●ハードディスクにある録画データは、他のパソコンなどにコピーまたは移動して再生することはできません。録画したパソコンでのみ再生可能です。

●バックアップした状態のままでは、録画番組を再生できません。
録画データは、外付けハードディスクなどにバックアップ（一時的にデータを退避）できますが、再生するためには録画したパソコンの録画フォルダーに戻す必要があります。バックアップするためには録画データより大きな空き領域が必要ですのでご注意ください。
また、移動（ムーブ）（P.53）を実行した録画番組は、バックアップしておいたファイルを元の場所に戻しても、再生することはできません。

●ハードディスクにある録画データは、編集や加工ができません。
「DVD MovieWriter」を使用すると、ディスクに保存した録画番組に対して、チャプターの追加などの編集ができます。詳しくは、「DVD MovieWriter」のマニュアルをご覧ください。

参照 「DVD MovieWriterユーザーガイド」

(スタート) →「すべてのプログラム」→「DVD MovieWriter for FUJITSU」→「DVD MovieWriterユーザーガイド」の順にクリック

なお、対応しているディスクについては次の表でご確認ください。

形 式	ディスクの種類
DVD-VR	DVD-RW、DVD-RAM
AVCREC 注	DVD-RW、DVD-RAM
BDAV 注	BD-RE、BD-RE DL

注：Blu-ray Disc ドライブ搭載機種のみ

● 液晶ディスプレイへの再生表示は、ハイビジョン表示にならない場合があります。
ハイビジョン映像は解像度変換せずに録画されますが、映像出力時に液晶ディスプレイの解像度に変換される場合があります。

● このパソコンで録画すると、パソコンのテレビチューナー固有のIDを使って、録画番組が暗号化されます。著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。
万一なんらかの不具合が起きて、番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

予約録画について

予約録画開始前の注意

● B-CASカードがパソコン本体にセットされていることを確認してください。
B-CASカードがセットされていないと、予約録画できません。

● BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を予約録画するときは、「アンテナ電源供給について」(→P.30)をご覧になり、アンテナに電源を供給する接続や設定になっているか、確認してください。
放送中の番組を視聴、録画するときだけではなく、予約録画するときも、アンテナ電源の供給が必要です。

● アンテナケーブルを取り外したままにしないでください。
予約録画が失敗する原因となります。
予約録画を設定した後に、アンテナケーブルを取り外してパソコン本体をお使いになった場合、予約録画開始前にはパソコン本体にアンテナケーブルを接続してください。

● 2つ以上の予約録画が連続している場合、前に予約しているテレビ番組の、最後の約1分間が録画されません。

● 録画予約時間が複数のユーザーで重ならないようにしてください。
電源を切った状態から予約録画をする場合は、テレビの録画予約が複数のユーザーアカウントで重ならないように注意してください。録画予約時間が重複する場合は、先に予約録画が始まったアカウントの設定が優先され、他のアカウントで設定していた録画予約は実行されません。

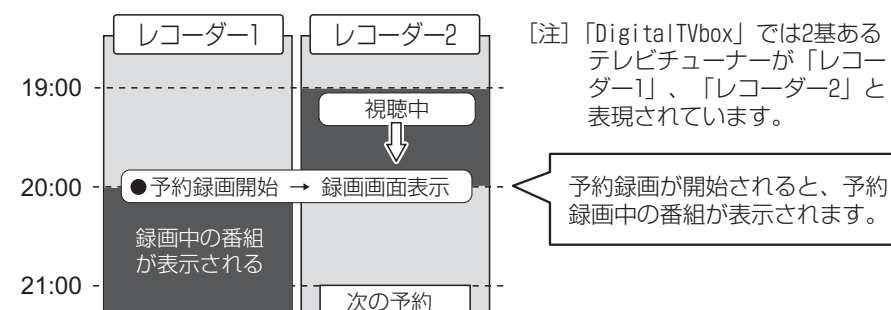
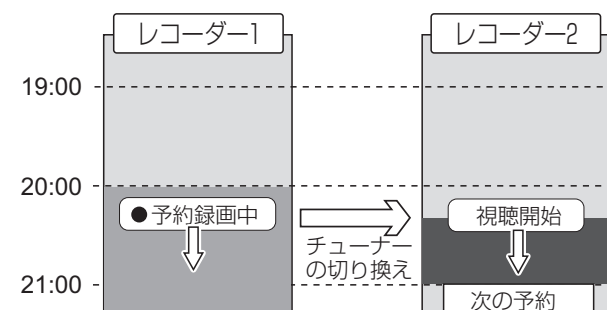
● 「DigitalTVbox」はユーザーアカウントが「管理者」、または「標準ユーザー」となっているユーザーでのみ予約録画できます。
「Guest」でログオンした場合、「DigitalTVbox」が起動しないため予約録画できません。

● 番組が延長された場合や、番組時間が変更された場合は、ハードディスクの空き容量が足りなくなり、予約録画が中断されることがあります。

録画番組再生中の注意

● 録画番組を再生中に予約録画の開始時間になった場合、録画番組の再生が停止し、予約録画されている番組が表示されます。
録画番組の続きを見たい場合は、「ハードディスクに録ったテレビ番組を再生する」(→P.48)の操作を行い、手順3の画面で「つづき再生」を選択してください。

テレビ番組視聴中の注意

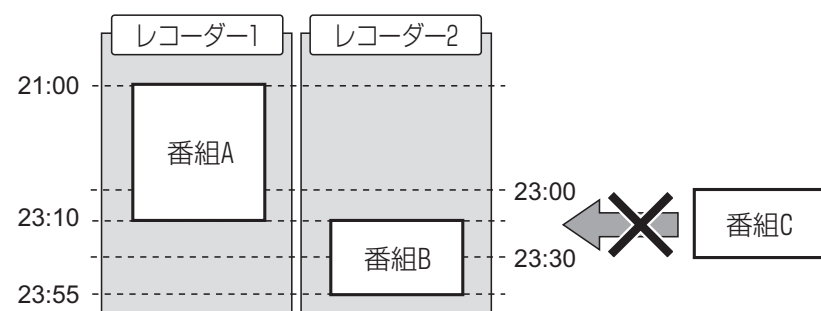
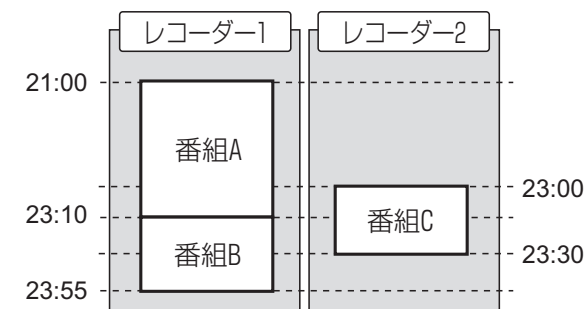
● ダブル録画に対応している機種(→P.14)をお使いの方で、テレビ番組を視聴中に予約録画の開始時間になった場合、視聴中の番組が中断され、予約録画されている番組が表示されることがあります。

予約録画を行っているテレビチューナーから、もう一方のテレビチューナーに表示を切り換えると、テレビ番組を視聴できます。下図の例では、テレビチューナーを切り換えることで、次の予約録画が開始される21：00まで、レコーダー2側でテレビ番組を視聴できます。

テレビチューナーの切り換えは、クイックメニュー(→P.26)の「レコーダー切換」から行います。

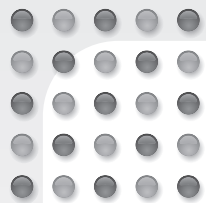
スリープや休止状態から予約録画するときの注意

●スリープや休止状態から復帰するときとスクリーンセーバーを解除するときにパスワードを入力する設定になっていると、スリープや休止状態から予約録画ができません。
スリープや休止状態から予約録画をするときは、次のように設定してください。

1. (スタート)→「コントロールパネル」の順にクリックします。
2. 「システムとセキュリティ」→「電源オプション」の「スリープ解除時のパスワードの要求」の順にクリックします。
3. 「電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化」ウィンドウで「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。
4. 「パスワードを必要としない」の をクリックして にします。
5. 「変更の保存」をクリックします。
6. をクリックします。
7. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「個人設定」をクリックします。
8. 「個人設定」ウィンドウで「スクリーンセーバー」をクリックします。
9. 「再開時にログオン画面に戻る」の をクリックして にします。
10. 「OK」をクリックします。

ダブル録画の予約を行うときの注意

●画質モード(P.44)を「最高画質」以外に設定している場合、ダブル録画はできません。
●「G-GUIDE」でダブル録画の予約を行うと、予約登録は、2つのテレビチューナー(「Digital TVbox」では「レコーダー1」、「レコーダー2」と表現されています)に自動的に振り分けられます。
時間帯が連続する2つの番組がレコーダー1とレコーダー2に振り分けられている状態で、2つの番組の時間帯にまたがる番組を後から予約しようとする場合などは、下図のように空いているレコーダーがないため、ダブル録画の予約ができない場合があります。

予約できない場合は、「以下の予約と重複しています。」と表示されます。「キャンセル」をクリックしてウィンドウを閉じてから、「予約録画を取り消す」(P.40)をご覧になり、重複するテレビ番組の予約をいったん取り消し、番組の開始時間順に再度録画予約を行ってください。
上図の例では、番組Bをいったん取り消し、番組C→番組Bの順に予約を行うことで、番組Cが登録されます。

ダビング設定で予約を行うときの注意

●「保存場所」(P.41)を「HDD(ダビング)」に設定して、「コピーワンス」信号(P.54)が含まれた番組の予約録画を行うときは、次の点にご注意ください。
- 「HDD(ダビング)」の設定で予約を行っている場合、他のテレビ番組を「HDD(ダビング)」の設定で予約することはできません。
- 「HDD(ダビング)」の設定で予約録画された録画データや、「ダビング録画」(P.39)を「する」に設定してから録画した録画データがハードディスクに残っている場合、録画データをハードディスクからDVDまたはBlu-ray Discに書き出すまでは(ダビングを実行するまでは)、他のテレビ番組を「HDD(ダビング)」の設定で予約録画することができません。

見ている番組を録画する

現在見ているテレビ番組を録画する方法を説明します。
まずは、録画を開始する前に必要に応じて録画の設定を行ってください。

■共通設定

起動設定	「DigitalTVbox」が起動したときに、再生の状態を「ライブ」または「タイムシフト」にするかを設定します。
録画オフタイマー	録画を開始した後、自動的に録画が停止するまでの時間を設定します。
タイムシフト時間	タイムシフトモードのときに、さかのぼれる最大時間を設定します。
タイムシフト開始時メッセージ表示	タイムシフトモードに切り換えたときに、「タイムシフトを開始します」と表示するかどうかを設定します。
HDD 設定	録画番組を保存するハードディスクの優先順位を設定します。

■地上デジタル／ BS ／ CS 設定、または地上デジタル設定

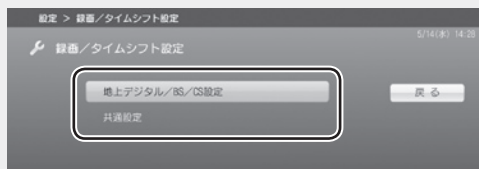
時間変更追従	番組放送時間が変更された場合、録画開始時刻や終了時刻を自動的に変更するかを設定します。
イベントリレー	番組が延長された場合に、放送局が別のチャンネルに切り換えて、番組の放送を継続するときがあります。これに対応して、別のチャンネルに切り換わっても録画を継続するかどうかを設定します。
ダビング録画	「コピーワンス」信号が含まれた録画番組を「ダビング」するか「移動（ムーブ）」するかを設定します。「する」に設定すると「ダビング」になり、「しない」に設定すると「移動（ムーブ）」になります。詳しくは、「ダビング／移動（ムーブ）について」（➔P.53）をご覧ください。
おすすめ自動録画	おすすめ自動録画（➔P.43）を行うかどうかを選択します。
画質モード	録画画質（画質モード）を指定します。画質モードについては、「画質モードについて」（➔P.44）をご覧ください。 なお、画質モードの設定は、ハイビジョン（HD）放送の番組に対してのみ有効です。標準（SD）放送の番組の場合は、自動的に「最高画質」で録画します。

録画の設定をする

1. テレビを起動した状態で、メニューを押します。

2. ◎で「設定」を選択し、決定を押します。

3. ◎で「録画／タイムシフト設定」を選択し、決定を押します。

4. ◎で設定したい項目を選択して決定を押し、お好みで設定を変更します。

5. 設定が終わったら、戻るを何回か押して、希望する画面に戻ります。

見ている番組を録画する

■リモコンで操作する

1. 録画したい放送波やチャンネルに切り換えます。

2. 操作パネルに表示されている録画可能時間を確認します。

3. 録画を押します。

4. 録画を停止する場合は、停止を押します。

■マウスで操作する

1. 録画したい放送波やチャンネルに切り換えます。

2. 操作パネルに表示されている録画可能時間を確認します。

3. ● をクリックします。

4. 録画を停止する場合は、■ をクリックします。

予約録画をする

予約録画の方法を説明します。なお、予約録画を行う前に、必要に応じて録画の設定を変更してください（P.38）。

予約の種類

- 番組表で予約 ――― 番組表からお好みのテレビ番組をみつけて予約録画できます。
- おすすめ番組で予約 ――― 予約履歴から推測されたおすすめ番組から、お好みのテレビ番組をみつけて予約録画ができます。おすすめ番組については、「おすすめ機能について」（P.42）をご覧ください。
- タイマーで予約 ――― 番組表に表示されない先々の予約を、最大1ヶ月先まで、日時を指定して行うことができます。タイマーで予約をする場合、「画質」は選択できません。タイマー予約について、詳しくは「G-GUIDE」のヘルプをご覧ください。

パソコンの時刻合わせ

パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。
地上デジタル放送を受信できる場合は、アンテナを接続しておけば自動的に時刻合わせができます。受信できない場合は、手動で時刻合わせを行ってください。時刻を合わせるときは、（スタート）→「コントロールパネル」→「時計、言語、および地域」→「日付と時刻の設定」の順にクリックします。設定方法について、詳しくは「日付と時刻」の画面で「時計とタイムゾーンの設定方法」をクリックし、表示される説明をご覧ください。

3 テレビを録る

番組表で予約する

1. 番組表 を押します。
2. で予約したい番組を選択します。
   番組の検索方法など、番組表の使い方については、「番組表を使う」（P.28）をご覧ください。
3. 録画 または 決定 を押します。
   「標準設定」で気軽に予約したい場合は 録画 を、番組詳細を確認したり詳細な録画設定をしたりしてから予約したい場合は 決定 を押します。
   「標準設定」での設定値
   繰り返し：なし
   保存場所：HDD
   画質：最高画質
4. 決定 を押した場合、で各種設定を目的に合わせて変更します。
5. 設定が完了したら、で「予約する」を選択し、決定 を押します。

■予約録画を変更する

1. 予約一覧 を押します。
   予約一覧 を押しても、予約一覧画面が表示されない場合は、「G-GUIDE」がすでに起動しています。その場合は、黄 を押してください。
2. で変更したい番組を選択し、決定 を押します。
3. で各種設定を変更します。
4. 設定変更が完了したら、で「変更する」を選択し、決定 を押します。

■予約録画を取り消す

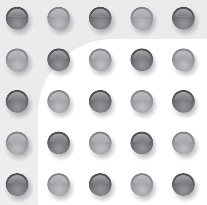
1. 予約一覧 を押します。
2. で変更したい番組を選択します。
3. 11 を押します。
4. で「OK」を選択し、決定 を押します。

ネットで詳細 番組の詳細情報に、番組や放送局ホームページのアドレス（URL）が含まれている場合に表示されます。番組のより詳しい情報を知りたい場合に、ご利用ください。選択すると、確認メッセージの後、ブラウザーが起動しホームページが表示されます。

中止時番組 スポーツ中継の雨天中止に備えた代替番組を放送局が用意しており、その代替番組のデータが配信されている場合、「番組詳細／録画予約」画面に「中止時番組」が表示されます。選択すると、代替番組の情報が表示されます。

繰り返し 定期的な予約録画を行う場合に録画頻度を変更します。

保存場所 「コピーワンス」信号が含まれた録画番組を「ダビング」するか「移動（ムーブ）」するかを設定します。詳しくは、「ダビング／移動（ムーブ）について」（P.53）をご覧ください。

画 質 ハイビジョン（HD）放送の場合に、録画画質（画質モード）を指定できます。画質モードについては、「画質モードについて」（P.44）をご覧ください。
なお、「最高画質」以外の録画画質を選択した場合、ダブル録画はできません。

おすすめ機能について

このパソコンには、予約履歴からおすすめ番組を推測する機能があります。
おすすめの番組を自動的に録画したり、おすすめ番組の一覧の中から録画したい番組を選択して予約録画することができます。

おすすめコンテンツメニュー

「おすすめコンテンツメニュー」は、インターネット上のニュース、おすすめ番組、および自動録画されたおすすめビデオを、まとめてチェックできるソフトウェアです。「おすすめコンテンツメニュー」を使えば、最新情報を見逃すことなく楽しめます。

おすすめ自動録画

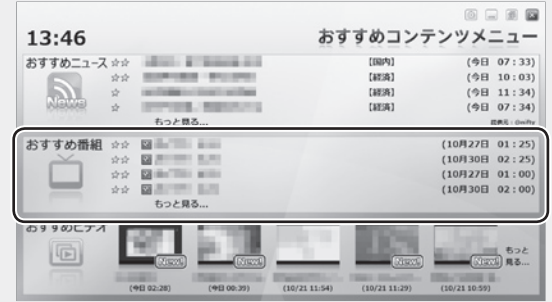
おすすめ番組を自動録画できます。自動録画を使用することで、好みのテレビ番組の見逃しや予約のし忘れを防いだり、意外な番組を発見したりできます。

おすすめ自動録画の特徴

- BSデジタル放送の有料チャンネルと110度CSデジタル放送の有料チャンネルは、自動録画されません。
- ハードディスクを録画データが占有しないよう、事前に設定した容量内で自動録画します。自動録画の予約が登録された時点で、それぞれの番組に応じてハードディスク容量が確保されます。そのため、ハードディスクの空き容量が急に減ったように見えることがありますが、異常ではありません。
- 「DigitalTVbox」または「G-GUIDE」を使用していないときに、自動録画を行います。
- おすすめ自動録画中に「DigitalTVbox」または「G-GUIDE」を起動すると、おすすめ自動録画は停止し、「DigitalTVbox」または「G-GUIDE」が起動します。
- 自動録画された番組は、「おすすめビデオ」や「録画番組」画面（P.48）から再生できます。
- 自動録画されたテレビ番組のうち、一度も再生されていない番組は、自動録画用として事前に設定したハードディスク容量を使い切っている場合に、古い順に自動的に削除されます。
- 一度見たテレビ番組は自動削除の対象から外されますが、おすすめ自動録画用のハードディスク容量の一部として残ります。一度見た番組は削除するか保護を行い、おすすめ自動録画用のハードディスク容量が充分に確保されるようにしてください。
  保護をするには、「録画番組」画面（P.48）でリモコンの（緑）を押してください。保護したテレビ番組は、おすすめ自動録画用のハードディスク容量には含まれなくなります。
- 画質モード（P.44）の設定にかかわらず、「最高画質」として録画されます。

おすすめ番組を予約録画する

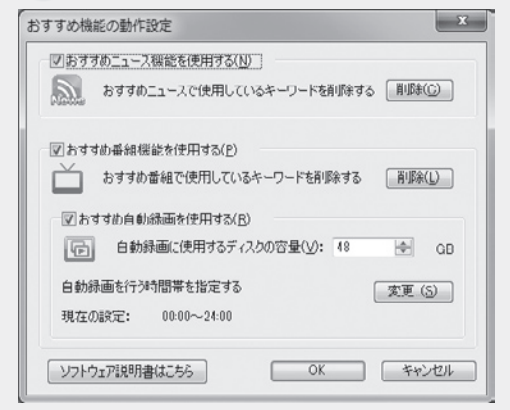
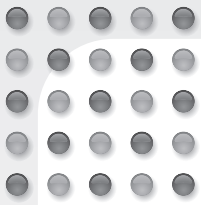
1. （おすすめ）を押します。
2. 「おすすめ番組」から、（十字キー）で予約したいテレビ番組を選択し、（決定）を押します。

3. （十字キー）で「予約する」を選択し、（決定）を押します。

4. （決定）を押します。

予約録画をしたテレビ番組は、「おすすめ番組」の一覧に予約済みアイコン（予約済）が追加されますが、しばらくすると一覧から表示が消えて、予約一覧に追加されます。

おすすめ自動録画を設定する

おすすめ自動録画を行うかどうかや、ハードディスク容量などの設定は、マウスを使って次の手順で行います。なお、おすすめ自動録画を行うかどうかの選択については、録画の設定（P.38）から行うこともできます。

1. （スタート）をクリックします。
2. 「おすすめ」と入力し、表示される「おすすめ機能の動作設定」をクリックします。
3. 設定を変更して、「OK」をクリックします。

録画画質について

選択できる画質モードや、画質変換ができるかどうかは、放送の種類によって異なります。

放送の種類	画質モード	画質変換
HD	最高画質	○
	高画質	×
	長時間	×
	超長時間	×
SD	最高画質	△

△：地上デジタル放送とBS放送のみ、超長時間へのみ変換可能

画質選択について

画質モードの設定方法については、「録画の設定をする」（P.38）をご覧ください。
また、予約録画時に番組ごとに設定する場合は、「予約録画をする」（P.40）をご覧ください。

画質変換とは

画質モードの選択は録画前に行いますが、「最高画質」として録画したデータは、後で別の画質モードに変換できます。詳しくは、「録った番組の容量を小さくする」（P.60）をご覧ください。

		最高画質	高画質	長時間	超長時間
データ形式		MPEG2-TS（音声：AAC）	MPEG4/AVC（音声：AAC）	MPEG4/AVC（音声：AAC）	MPEG4/AVC（音声：AAC）
ダブル録画		可能	不可	不可	不可
録画中の別番組視聴		可能	不可	不可	不可
録画中の録画データ再生		可能	不可	不可	不可
録画データの状態	画質	ハイビジョン（HD）	ハイビジョン（HD）	ハイビジョン（HD）	標準（SD）に変換
	データ放送のデータ	保存	削除	削除	削除
	番組情報のデータ	保存	保存	保存	保存
	字幕放送のデータ	保存	保存	保存	保存
	副音声	保存	保存	保存	保存
	5.1チャンネル音声	保存	保存	保存	保存
データサイズの目安 4.7GBのDVDに何時間分の録画データを保存できるか		約1時間 保存時に標準画質（SD画質）に変換	約1時間	約2時間	約4時間

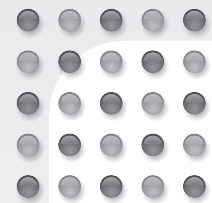
「最高画質」以外の画質モードで、ハイビジョン（HD）放送番組から標準（SD）放送番組にかけて連続して録画した場合、標準（SD）放送番組の画質モードは「超長時間」として録画が継続されます。

録画データを保存するために必要なハードディスク容量

放送番組の種別		画質モード	1時間分の録画データを保存するためのハードディスク容量
地上デジタル放送	ハイビジョン（HD）放送	最高画質	約7650MB（約7.6GB）
		高画質	約4050MB（約4GB）注1
		長時間	約2025MB（約2GB）注1
		超長時間	約1080MB（約1GB）注1
	標準（SD）放送	最高画質	約3600MB（約3.6GB）
		超長時間	約1080MB（約1GB）注2
BS・110度CSデジタル放送	ハイビジョン（HD）放送	最高画質	約10800MB（約10.8GB）
		高画質	約4050MB（約4GB）注1
		長時間	約2025MB（約2GB）注1
		超長時間	約1080MB（約1GB）注1
	標準（SD）放送	最高画質	約4950MB（約4.9GB）
		超長時間	約1080MB（約1GB）注2 注3

容量は、1MB=1000^2bytes、1GB=1000^3bytes 換算値
注1：「最高画質」の録画データを、画質変換（P.60）した場合も、同じ数値になります。
注2：「最高画質」から画質変換した場合の数値です。標準（SD）放送の番組を「超長時間」で録画することはできません。
注3：110度CSデジタル放送の画質変換はできません。

録画データの保存先について

- 「DigitalTVbox」の録画データは、ハードディスクの次のフォルダーに保存されます。ただし、ハードディスクの使用状況によっては、片方のフォルダーが作成されていない場合もあります。
  - D:\DTVApp
  - C:\DTVApp
- DVD、Blu-ray Discや外付けハードディスクなどには録画できません。

電源を切った状態から予約録画をする

このパソコンでは、録画予約をしておけば、パソコンの電源が切れていても自動的に起動して録画を開始することができます(「PowerUtility-スケジュール機能」)。
また、画面や音声を消した状態のまま、予約録画を実行することができます(「おやすみディスプレイ」機能)。夜中や留守中に録画を開始したいときに便利です。

電源を切った状態から予約録画をするときの注意

テレビの録画予約15分前にはパソコンの電源を切ってください。
予約録画が始まる時間の直前に電源を切ったり、パソコンがスリープや休止状態になっていてシャットダウンされていなかったりすると、設定どおりに正しく動作しない場合があります。

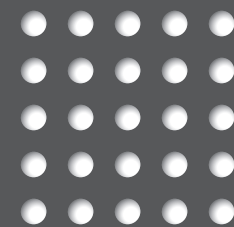
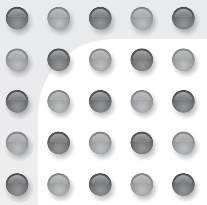
「PowerUtility-スケジュール機能」について

- 「PowerUtility-スケジュール機能」は、(スタート)→「すべてのプログラム」→「PowerUtility」→「スケジュール」→「PowerUtility-スケジュール機能」の順にクリックして起動することができます。
- 電源を切った状態からの予約録画には「PowerUtility-スケジュール機能」を使用します。「PowerUtility-スケジュール機能」を削除すると、録画予約時間に自動的に電源を入れたり、録画終了後に電源を自動的に切ることができなくなりますのでご注意ください。
- Windowsのログオンパスワードを設定した場合は、「PowerUtility-スケジュール機能」にも、そのパスワードを設定してください。また、Windowsのログオンパスワードを変更した場合にも、「PowerUtility-スケジュール機能」のパスワード変更が必要です。設定の手順について、詳しくは「PowerUtility-スケジュール機能」の画面で「ヘルプ」→「使用方法について」をご覧ください。
- 「PowerUtility-スケジュール機能」の「電源オフからのTV録画予約(DigitalTVbox)」が設定された状態でパソコンの電源を切り、再度電源を入れると、録画予約を設定したユーザーアカウントに自動でログオンされます。
  このとき、パソコンに複数のユーザーアカウントが登録されていても、パスワード入力画面は表示されませんのでご注意ください。
- 「PowerUtility-スケジュール機能」はBIOSセットアップの「時刻による電源ON」を使用しています。「PowerUtility-スケジュール機能」を起動した後、録画のスケジュールが設定されていない場合には、Windowsの起動時にBIOSセットアップの設定が自動的に変更され、「使用しない」に設定されます。

「おやすみディスプレイ」機能について

「おやすみディスプレイ」は、(スタート)→「すべてのプログラム」→「PowerUtility」→「スケジュール」→「おやすみディスプレイ設定変更」の順にクリックして表示される画面で、設定を変更できます。

第4章

録ったテレビ番組を再生する/保存する

ハードディスクに録った テレビ番組を再生する

ここでは、ハードディスクに録画したテレビ番組、ディスクに保存したテレビ番組を再生する操作について説明しています。

録画した番組を再生するときの注意

- このパソコンで録画すると、パソコンのテレビチューナー固有のID を使って、録画番組が暗号化されます。著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。
  万一なんらかの不具合が起きて、番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ネットワークを経由し、他の機器で再生することはできません。
- テレビ番組を再生中は、「WinDVD」を起動しないでください。「DigitalTVbox」でテレビ番組を再生中に「WinDVD」を起動すると、「DigitalTVbox」の画面表示が終了します。
- ダブル録画に対応している機種（••➤P.14）で、ダブル録画を行っている場合、録画番組を再生することはできません。
- 画質モード（••➤P.44）を「最高画質」以外に設定して録画を行っているとき、録画番組を再生することはできません。

ハードディスクに録ったテレビ番組の再生

1 録画番組 を押します。

2 ◇で見たい番組を選択し、決定 を押します。

選択しているテレビ番組は、黄色で表示されます。

3 ◇で「再生」を選択し、決定 を押します。

番組の再生が始まります。

4 番組の再生を終える場合は、停止 ■ を押します。

録画した番組の一覧に戻ります。

おすすめビデオを再生する

自動録画されたおすすめ番組は、「おすすめビデオ」からも再生できます。詳しくは、「おすすめ機能について」（••➤P.42）をご覧ください。

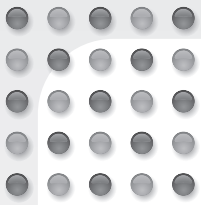
1 おすすめ を押します。

2 「おすすめビデオ」から、◇で再生したい番組を選択し、決定 を押します。

番組の再生が始まります。

3 番組の再生を終える場合は、停止 ■ を押します。

「おすすめコンテンツメニュー」の画面に戻ります。

※ 自動録画されたおすすめ番組は、画質変換すると「おすすめビデオ一覧」に表示されなくなります。画質変換をした後は、録画番組 を押し、「DigitalTVbox」で視聴してください。

録ったテレビ番組をディスクに保存する

ハードディスクに録画したテレビ番組は、「DigitalTVbox」を使ってディスクに保存できます。ここでは、録画番組をディスクに保存する操作について説明しています。

AACSキーを更新してお使いください

・Blu-ray Discへ録画データを保存する場合、および画質モード（→P.44）が「最高画質」以外の録画データをDVDへ保存する場合は、AACS（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって、データが暗号化されます。暗号化されるときには、「AACSキー」という電子データが働きます。AACSキーはこのパソコンに入っています。通常、AACSキーには有効期限が設けられているため、このパソコンのAACSキーも定期的に更新する必要があります。更新方法については、次のURLをご覧ください。

http://www.fmworld.net/aacs/deskpower/

対応ディスク

対応するディスクには、DVDとBlu-ray Discがあります。Blu-ray Discは、Blu-ray Discドライブを搭載した機種（→P.13）で使用できます。

DVD※

DVD-R　DVD-R DL　DVD-RW　DVD-RAM

※CPRM（Content Protection for Recordable Media）対応のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAMに保存できます。

- DVD-R、DVD-R DLは、1回のみデータを書き込めます。書き込んだデータの削除や書き換えはできません。また録画データを保存したディスクに、データは追記できません。
- DVD-RW、DVD-RAMは、書き込んだデータの削除や書き換えが可能です。データが不要になったら削除して、別のデータの保存に使えます。
- CPRM対応のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAMに保存したテレビ番組は、「WinDVD」またはCPRM対応のDVDに対応したプレーヤーで再生できます。
  なお、CPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーであっても再生できない場合がありますが、このパソコンの故障ではありません。
- DVD-RAMは、カートリッジなしタイプまたはカートリッジからディスクが取り出せるタイプをご購入ください。
  カートリッジに入れた状態で使用するタイプ（Type1）は使用できません。また、カートリッジからディスクを無理に取り出して使わないでください。

Blu-ray Disc

BD-R　BD-R DL　BD-RE　BD-RE DL

- 大容量のデータ保存が可能です。
  地上デジタル放送やハイビジョン（HD）放送などの保存に適しています。
- BD-R、BD-R DLは、1回のみデータを書き込めます。書き込んだデータの削除や書き換えはできません。
- BD-RE、BD-RE DLは、書き込んだデータの削除や書き換えが可能です。
  データが不要になったら削除して、別のデータの保存に使えます。
- Blu-ray Discに保存したテレビ番組は、「WinDVD」で再生できます。
- このパソコンは、BD-RE Ver1.0に対応していません。
- BD-R LTH Type（記録層に有機色素材料が使用されているBD-R）に対応しています。

このパソコンの推奨ディスクについては、次のマニュアルをご覧ください。

参照　推奨ディスクについて

『取扱説明書』

作成されるディスクの状態

画質モード（→P.44）により、作成されるディスクの状態が異なります。例えば、画質モードが「最高画質」の録画データをDVDに保存すると、録画データはハイビジョン画質（HD画質）から標準画質（SD画質）に変換されて格納されます。

次の表は、ハードディスクの録画データをディスクに保存したときに、ディスク上の録画データがどのような状態になっているかをまとめたものです。

＊：ディスクに保存したときに、ハードディスク上の録画データから変換や削除される項目
－：ハードディスクに録画された時点、または画質変換された時点で存在しない項目

		最高画質	高画質	長時間	超長時間
フォーマット形式	DVD	DVD-VR	AVCREC	AVCREC	AVCREC
	Blu-ray	BDAV2.0	BDAV2.1	BDAV2.1	BDAV2.1
画 質 注1	DVD	標準(SD)に変換＊	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	標準（SD）
	Blu-ray	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	ハイビジョン(HD)	標準（SD）
データ放送のデータ 注2	DVD	削除＊	－	－	－
	Blu-ray	保存	－	－	－
番組情報のデータ 注2	DVD	削除＊	保存	保存	保存
	Blu-ray	保存	保存	保存	保存
字幕放送のデータ 注2	DVD	削除＊	保存	保存	保存
	Blu-ray	保存	保存	保存	保存
副音声	DVD	音声1以外は削除＊	保存	保存	保存
	Blu-ray	保存	保存	保存	保存
5.1チャンネルの音声	DVD	2チャンネルに変換＊	保存	保存	保存
	Blu-ray	保存	保存	保存	保存

注1：ハイビジョン（HD）放送の録画データの場合です。
注2：ディスク上に、データ放送、番組情報のデータが保存されていても、「WinDVD」では表示されません。

Point 画質モードとDVDのフォーマット形式について

・DVDに録画データを保存する場合、録画データの画質モードによって、作成されるディスクのフォーマット形式が大きく異なりますので、ご注意ください。
・録画データの画質モードが「最高画質」の場合は、「DVD-VR」形式のディスクを作成できます。また、「最高画質」から他の画質モードに画質変換（P.60）することで、「AVCREC」形式でディスクを作成することもできます。
・録画データの画質モードが「最高画質」以外の場合は、「DVD-VR」形式でのディスク作成はできず、「AVCREC」形式のみのディスク作成となります。

記録時間の目安

1枚のディスクに、何時間分の録画データを記録できるかを、ディスクの種類ごとに説明します。

DVD 画質モードが「最高画質」の録画データの場合

画質モード（P.44）を「最高画質」にして録画したデータをDVDに保存する場合、保存操作中に「高画質（XP）」「標準画質（SP）」「長時間（LP）」「ぴったりサイズ」の４つの記録モードを選択できます。記録モードごとの記録時間の目安は、次のとおりです。

記録モード	DVD-R／DVD-RW／DVD-RAM 注1（約4.7GB）	DVD-R DL（約8.5GB）
高画質（XP）	約１時間	約２時間
標準画質（SP）	約２時間	約3.5時間
長時間（LP）	約４時間	約7.5時間
ぴったりサイズ 注2	約４時間	約7.5時間

注１：DVD-RAM の片面ディスクです。
注２：ディスクの空き容量に収まるように、画質を調整して書き込むモードです。表内の時間は、１枚のディスクに最長何時間のテレビ番組を収めることができるかを示しています。なお、両面ディスクを使用した場合は、片面のみへの書き込みとなります。
・ディスクの空き容量によっては、ぴったり収まらない場合があります。
・１時間に満たないテレビ番組は、ディスクに空き容量ができる場合があります。

DVD 画質モードが「最高画質」“以外”の録画データの場合

画質モード（P.44）を「高画質」「長時間」「超長時間」のいずれかにして録画した場合や、「最高画質」から他の画質モードへ画質変換（P.60）を行った場合の、画質モードごとの記録時間の目安は次のとおりです。

放送番組の種別	画質モード	DVD-R／DVD-RW／DVD-RAM 注1（約4.7GB）	DVD-R DL（約8.5GB）
ハイビジョン（HD）放送	高画質	約１時間	約２時間
	長時間	約２時間	約3.5時間
	超長時間	約４時間	約7.5時間
標準（SD）放送	超長時間	約４時間 注2、注3	約7.5時間 注2、注3

注１：DVD-RAMの片面ディスクです。
注２：「最高画質」から「超長時間」に画質変換した録画データを保存した場合の数値です。標準（SD）放送の番組を「超長時間」で録画することはできません。
注３：110度CSデジタル放送の画質変換はできません。

Blu-ray Disc

録画時の「画質モード」（P.44）や、「最高画質」から他の画質モードへ画質変換（P.60）を行った場合の、画質モードごとの記録時間の目安は次のとおりです。

放送番組の種別	画質モード	BD-R/BD-RE（約25GB）	BD-R DL/BD-RE DL（約50GB）
ハイビジョン（HD）放送	最高画質	約３時間	約６時間
	高画質	約６時間	約12時間
	長時間	約12時間	約24時間
	超長時間	約24時間	約48時間
標準（SD）放送	最高画質	約4.5時間	約９時間
	超長時間	約24時間 注1、注2	約48時間 注1、注2

注１：「最高画質」から「超長時間」に画質変換した録画データを保存した場合の数値です。標準（SD）放送の番組を「超長時間」で録画することはできません。
注２：110度CSデジタル放送の画質変換はできません。

ダビング／移動（ムーブ）について

このパソコンでは、ハードディスクに録画したテレビ番組を、ディスクに保存できます。ディスクに保存する方法は、ダビングと移動（ムーブ）の2つがあります。

ダビングとは

パソコンのハードディスクに録画番組を**残したまま**、DVDまたはBlu-ray Discにデータをコピー（バックアップ）する機能です。

移動（ムーブ）とは

ハードディスクの録画番組を、DVDまたはBlu-ray Discに保存する機能です。「移動（ムーブ）」の名のとおり、録画した番組のデータをDVDまたはBlu-ray Discに保存した後は、ハードディスクから**データが削除**されます。

■ダビング／ムーブの特徴

● 録画番組をCPRM対応ディスクに保存できます。各ディスクの特徴や、ダビング時のディスクの状態などについては、「録ったテレビ番組をディスクに保存する」（P.50）をご覧ください。
● DVDに保存したテレビ番組は、「WinDVD」またはCPRM 対応のDVDに対応したDVDプレーヤーで再生できます。なお、CPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーであっても再生できない場合がありますが、このパソコンの故障ではありません。
● Blu-ray Disc に保存したテレビ番組は、「WinDVD」またはBlu-ray Discに対応したプレーヤーで再生できます。

ダビング／ムーブをするときの注意事項

・他のソフトウェアは終了させてください。
・ダビング、またはムーブ中は、番組の視聴、録画はできません。また、ダビング、またはムーブ中は、予約録画を行うことができません。ダビング、またはムーブを実行する前に予約録画の時間を確認してください。
・大切な録画データをディスクに保存する前に、テスト用の録画データでディスクに保存し、お手持ちの機器で再生可能かご確認ください。
・録画データを保存するディスクにデータが入っていた場合、フォーマットを行うとすべてのデータが削除されます。データを削除したくない場合は、新しいディスクを用意してください。
・ディスクの作成時間は状況などによって異なり、録画番組の再生時間よりも長くなる場合があります。ディスクを作成する画面に表示される「完了予測時間」を目安としてご確認ください。
・「DigitalTVbox」で録画データをDVD-RAMに追記する場合、録画データのみが入っているときは、追記できます。録画番組以外のデータが入っているときは、追記できません。

・移動（ムーブ）の途中でキャンセルした場合、その時点までのデータがディスクに書き込まれ、それ以降のデータはハードディスクから削除されます。「ダビング 10」信号が含まれた録画データをダビングの途中でキャンセルした場合は、その時点までのデータがディスクに書き込まれ、ダビング可能回数が 1 回減ります。
・ダビング設定の録画データをダビングの途中でキャンセルした場合、その時点までのデータがディスクに書き込まれます。ハードディスクに残ったデータは、再びダビングしたり、画質変換（→P.60）を実行したりすることはできません。
・移動（ムーブ）中や、ダビング設定の録画データをダビング中に、強制シャットダウンや、停電による電源断など不慮の事故により、パソコン本体が停止したり、記録しているディスクの傷や汚れにより、書き込みが中断したりした場合、移動（ムーブ）を実行した録画番組はハードディスクから一部、またはすべてが削除される場合があります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを、再生できない場合があります。
・『取扱説明書』にも、ディスクに書き込みをするときに注意していただきたいことを説明しています。あわせてご覧ください。

■コピー制御信号の種類

デジタル放送の番組には、著作権保護を目的とした、コピー回数を制御するための信号が含まれています。この信号には、「コピーネバー」「コピーフリー」「コピーワンス」「ダビング 10」の４種類があります。

●**コピーネバー** ――― ハードディスクへの録画、およびディスクへの保存ができない信号です。

●**コピーフリー** ――― ハードディスクへ録画した後、その録画データをディスクに何回でも保存できる信号です。

●**コピーワンス** ――― ハードディスクに録画を行った時点で、1 回コピーを行ったとみなされる信号です。そのため、DVD などのディスクに録画番組を保存したい場合は、移動（ムーブ）することになります。移動（ムーブ）を行うと、ハードディスク内の録画データは自動的に削除されます。

●**ダビング 10** ――― ハードディスク内に録画番組を残したまま、最大９枚のディスクへの保存ができ、最後に移動（ムーブ）を行える信号です。最後の移動（ムーブ）を行うと、ハードディスク内の録画データは自動的に削除されます。

■ダビング設定

このパソコンでは、録画前に「ダビング録画」を「する」に設定しておくと（→P.39）、通常の録画用のデータに加えてバックアップ用のデータを作成し、バックアップ用のデータをディスクに移動（ムーブ）することで、1 枚だけダビングを行うことができます。ダビング後の録画データを移動（ムーブ）して、2 枚目のディスクを作成することはできません。ご購入時は「移動（ムーブ）」に設定されているため、ダビングを行いたい場合は、録画前に設定を変更する必要があります。
ダビング設定の録画データのダビング方法は、「ダビング設定の録画データをダビングする」（→P.56）をご覧ください。

ダビング設定時の注意事項

・他のソフトウェアは終了させてください。
・ダビングを実行した録画番組はハードディスクに残り、「DigitalTVbox」で再生できますが、再びダビングしたり、移動（ムーブ）したりすることはできません。
・DVD または Blu-ray Disc は、録画番組 1 本に対し 1 枚しか作成できません。録画番組の容量がディスク 2 枚以上にわたる場合、ダビングを実行しても 2 枚目を作成することはできません。この場合でもダビング終了後、この録画番組を再びダビングしたり、移動（ムーブ）したりすることはできません。

ダビング／移動（ムーブ）する

このパソコンでは、ハードディスクに録画したテレビ番組を、ディスクに保存できます。ディスクに保存する方法は、ダビングと移動（ムーブ）の2つがあります。

1 ディスクをパソコン本体にセットします。

2 録画番組 を押します。

録画したテレビ番組の一覧が表示されます。

画面に表示されるアイコンの意味

アイコン	意味
HDD:C	C ドライブに保存されています。
HDD:D	D ドライブに保存されています。
HD	ハイビジョン（HD）放送の録画データです。画質モードは「最高画質」です。
SD	標準（SD）放送の録画データです。画質モードは「最高画質」です。
AVC-H	ハイビジョン（HD）放送の録画データで、画質モードは「高画質」です。
AVC-M	ハイビジョン（HD）放送の録画データで、画質モードが「長時間」です。
AVC-L	ハイビジョン（HD）放送または標準画質（SD）放送の録画データで、画質モードが「超長時間」です。
(コピーフリーアイコン)	コピーフリーの番組です。
1	コピーワンスの番組です。
10	ダビング 10 の番組です。ダビングを行うごとに数字が減っていきます。
(自動録画アイコン)	自動録画された番組です。おすすめの度合いを示しています。
NEW	自動録画されてから一度も再生しておらず、自動的に削除される対象の番組です。

3 でディスクに保存したい番組を選択します。

複数の番組を選択する場合は、でテレビ番組を選択し、一時停止を押します。選択したテレビ番組に ✔ が表示されます。選択を解除したい場合は、もう一度 一時停止 を押します。

4 DVD を作成するときは (青)、Blu-ray Disc を作成するときは (赤) を押します。

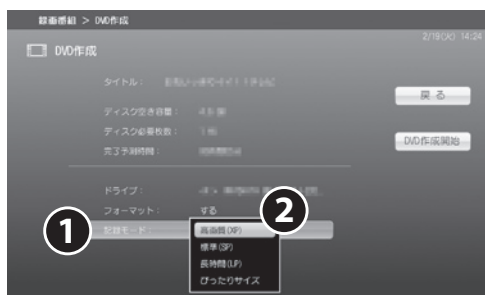
5 「フォーマット」を選択します（使用ディスクが DVD-R、BD-R の場合は表示されません）。

ディスクにすでに録画データが入っていて、追記を行いたい場合は、フォーマットの選択は不要です。フォーマットを行う場合は、次の操作を行います。

1. で「フォーマット」を選択し、決定 を押します。
2. で「する」を選択し、決定 を押します。

Point DVD に保存する場合のフォーマット形式について

保存する録画データの画質モードにより、ディスクのフォーマット形式が異なります（→P.51）。そのため、パソコンにセットしたディスクのフォーマット形式が、録画データを保存するためのフォーマット形式と異なっている場合は、上の画面で「フォーマット」を「しない」に設定していても自動的にフォーマットされ、以前の録画データは消去されます。追記を行う場合は画質モードの違いに充分ご注意ください。

6 記録モードを設定します（使用ディスクがBlu-ray Discの場合、またはDVDに「最高画質」以外の録画データを保存する場合は表示されません）。

1. ⊙で「記録モード」を選択し、決定を押します。
2. ⊙で画質を選択し、決定を押します。（テレビ番組を複数選択した場合、「ぴったりサイズ」は表示されません。）

7 ⊙で「DVD作成開始」または「BD作成開始」を選択し、決定を押します。

8 ⊙で「はい」を選択し、決定を押します。

Point セットしたディスクのフォーマット形式が、録画データの保存形式と異なる場合

DVDの場合、フォーマットを選択していなくても、録画データの画質モードによっては、フォーマットを行うかどうかを確認する、次のウィンドウが表示されます。ディスク内のデータが消去されても問題ない場合のみ、「はい」を選択してください。

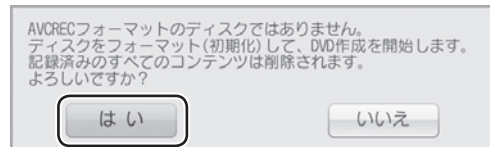
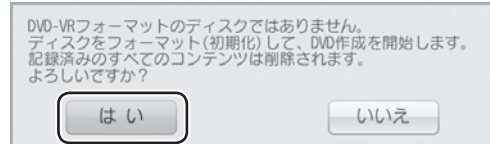
■「DVD-VR」形式のディスクに、「最高画質」以外の録画データを保存しようとした場合

■「AVCREC」形式のディスクに、「最高画質」の録画データを保存しようとした場合

ダビング設定の録画データをダビングする

1 ディスクをパソコン本体にセットします。

2 録画番組 を押します。

録画したテレビ番組の一覧が表示されます。

3 ⊙で「ダビング」を選択し、決定を押します。

4 ⊙で「ダビング（DVD）」または「ダビング（BD）」を選択して、決定を押します。

DVDにダビングする場合は、「ダビング（DVD）」を、Blu-ray Discにダビングする場合は、「ダビング（BD）」を選択してください。

5 「フォーマット」を選択します（使用ディスクがDVD-R、BD-Rの場合は表示されません）。

ディスクにすでに録画データが入っていて、追記を行いたい場合は、フォーマットの選択は不要です。フォーマットを行う場合は、次の操作を行います。

1. ⊙で「フォーマット」を選択し、決定を押します。
2. ⊙で「する」を選択し、決定を押します。

Point DVDに保存する場合のフォーマット形式について

保存する録画データの画質モードにより、ディスクのフォーマット形式が異なります（→P.51）。
そのため、パソコンにセットしたディスクのフォーマット形式が、録画データを保存するためのフォーマット形式と異なっている場合は、上の画面で「フォーマット」を「しない」に設定していても自動的にフォーマットされ、以前の録画データは消去されます。追記を行う場合は画質モードの違いに充分ご注意ください。

6 記録モードを設定します（使用ディスクがBlu-ray Disc の場合、またはDVD に「最高画質」以外の録画データを保存する場合は表示されません）。

1. ⊙で「記録モード」を選択し、決定を押します。
2. ⊙で画質を選択し、決定を押します。

7 ⊙で「ダビング開始」を選択し、決定を押します。

8 ⊙で「はい」を選択し、決定を押します。

Point セットしたディスクのフォーマット形式が、録画データの保存形式と異なる場合

DVDの場合、フォーマットを選択していなくても、録画データの画質モードによっては、フォーマットを行うかどうかを確認する、次のウィンドウが表示されます。ディスク内のデータが消去されても問題ない場合のみ、「はい」を選択してください。

■「DVD-VR」形式のディスクに、「最高画質」以外の録画データを保存しようとした場合

■「AVCREC」形式のディスクに、「最高画質」の録画データを保存しようとした場合

DVD-VRフォーマットのディスクではありません。
ディスクをフォーマット（初期化）して、DVD作成を開始します。
記録済みのすべてのコンテンツは削除されます。
よろしいですか？
は い　　いいえ

ディスクに保存した テレビ番組を再生する

ここでは、ディスクに保存したテレビ番組を再生する操作について説明します。ディスクに保存したテレビ番組を再生するには、添付のソフトウェア「WinDVD」が必要です。「WinDVD」については、「WinDVD」の ? をクリックして、ヘルプをご覧ください。

「Windows Media Player」やその他の市販のソフトウェアでは、Blu-ray Discは再生できません。

ディスクを再生するときの注意

- 保存したテレビ番組に、データ放送、番組情報のデータが含まれていても、「WinDVD」では表示されません。
- お使いになるディスクのタイトルによっては、動画や音声をスムーズに再生できない場合があります。
- ディスクを再生する前に、他のソフトウェアを終了させてください。また、再生中は他のソフトウェアの起動や他の操作は行わないでください。パソコンのCPU やハードディスクに負荷がかかるため、ディスクが正しく再生されない原因となります。
- ディスクの再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。
- 「WinDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。
  このパソコンには、ディスクを再生するソフトウェア「WinDVD」が用意されています。より快適にディスクを視聴するために、「WinDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。「WinDVD」を更新するには、「アップデートナビ」を実行してください。「アップデートナビ」の実行方法については、次のマニュアルをご覧ください。

参照 **「アップデートナビ」の実行方法**
『取扱説明書』

- テレビ番組を録画している間は、ディスクを再生しないでください。
  ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- ディスクの再生は、予約録画が設定されていない時間帯に行ってください。
  ディスクの再生中にテレビ番組の予約録画が開始されると、ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- このパソコンのAACSキーを更新してお使いください。
  Blu-ray Disc内の録画データ、および画質モードが「最高画質」以外の録画データは、AACS（Advanced Access Content System）と呼ばれる著作権保護技術によって暗号化されています。暗号化されたデータを再生するときには、「AACSキー」という電子データが働きます。AACSキーはこのパソコンに入っています。AACSキーは15～18ヶ月ごとに更新されますが、著作権保護の状況によっては不定期に更新される場合もあります。更新されたAACSキーが設定されているディスクを再生するためには、このパソコンのAACSキーも更新する必要があります。
  更新方法については、次のURLをご覧ください。
  http://www.fmworld.net/aacs/deskpower/

ディスクに保存したテレビ番組の再生

1 ディスクをパソコン本体にセットします。

「自動再生」ウィンドウが表示されます。

2 「***ビデオの再生 - Corel WinDVD 使用」をクリックします。

「***」には、DVD の場合は「DVD」が、Blu-ray Disc の場合は「BDDVD」が表示されます。
ディスクの再生が始まります

Point 「マイフォト」の画面が表示されたら

ディスクをセットすると「マイフォト」が起動することがあります。この場合は、「マイフォト」の画面で「閉じる」をクリックし、画面を閉じます。
（スタート）→「すべてのプログラム」→「Corel」→「Corel WinDVD」をクリックすると「WinDVD」が起動し、ディスクの再生が始まります。

再生中の操作

ハードディスクに録画した番組を再生中は、リモコンを使って次の操作ができます。

Point 再生速度を変更するには

再生速度を速くしたり、遅くしたりして視聴できます。「クイックメニュー」（→P.26）を表示し、「早見再生×1.3」（1.3倍の再生速度）、または「ゆったり再生×0.8」（0.8倍の再生速度）を選択します。通常の再生速度に戻す場合は、を押します。

したい操作	リモコンで押すボタン
再生を停止する	停止 ■
一時停止する	一時停止 ❚❚
一時停止後に再生する	一時停止 ❚❚ 再生 ▶
早送りする	早送り ▶▶
巻き戻す	巻戻し ◀◀
約30秒間早送りする 注1、注2	順スキップ ▶▶❚
約30秒間巻き戻す 注1、注2	逆スキップ ❚◀◀

注1：スキップする秒数は、「DigitalTVbox」の「トップメニュー」→「設定」→「再生設定」→「再生スキップ設定」の順に選択することで、変更できます。
注2：「早見再生」「ゆったり再生」中は、操作できません。

録った番組の容量を小さくする

ここでは、ハードディスク内の録画データの画質を変換し（**画質変換**）、容量を小さくしてハードディスクの空き容量を増やす操作について説明しています。

画質変換

画質変換では、画質モードが「最高画質」の録画データを、「高画質」「長時間」「超長時間」のいずれかのモードに変換することで、容量を小さくします（録画時に、画質モードを「最高画質」以外にしていた場合、画質変換できません）。

画質変換を行うと ―― 選択した画質モードによっては、ハイビジョン画質（HD画質）のデータが標準画質（SD画質）に変換されたり、データ放送情報が消去されたりします。「録画画質について」（P.44）をご覧になり、必要な情報が消去されないかをご確認ください。

画質変換に関する注意

- 放送番組の種別と、画質変換が可能な画質モードの組み合わせは、次のとおりです。

放送番組の種別		高画質	長時間	超長時間
デジタル放送	ハイビジョン（HD）放送	○	○	○
	標準（SD）放送	×	×	○
BSデジタル放送	ハイビジョン（HD）放送	○	○	○
	標準（SD）放送	×	×	○
110度CSデジタル放送	ハイビジョン（HD）放送	○	○	○
	標準（SD）放送	×	×	×

- 「コピーワンス」信号が含まれた番組を、「ダビング録画」（P.39）を「する」に設定してから録画したデータは、ダビングを実施した後に、画質変換を行うことはできません。
- 複数の録画データを一度に変換することはできません。
- 変換にかかる時間は、録画番組の再生時間とほぼ同じです。
- 変換を途中でキャンセルした場合、その時点まで変換されたデータは消去されます。なお、変換前のデータは消去されません。
- 変換中は、「DigitalTVbox」でテレビ番組の視聴、録画はできません。また、変換中は、予約録画を行うことができません。変換を実行する前に予約録画の時間を確認してください。
- 画質変換を実行する前に、ハードディスクに充分な空き容量があることを確認してください。変換後のデータを保存するための空き容量がないと、画質変換を実行するためのボタンが表示されません。

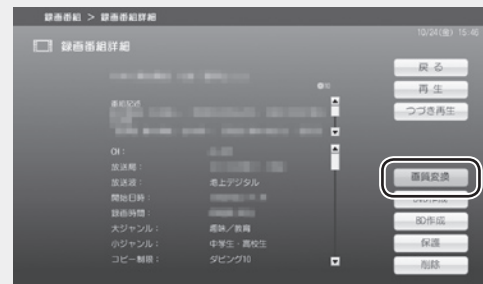
画質変換をする

1 録画番組 を押します。

2 ◎で変換したい録画番組を選択し、決定を押します。

AVC-H AVC-M AVC-L のアイコンが表示されている番組は、画質変換済みです。再度画質変換することはできません。

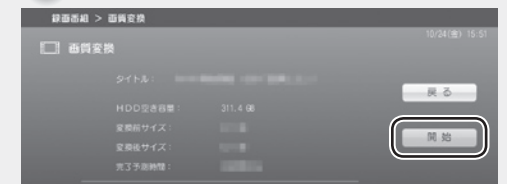
3 ◎で「画質変換」を選択し、決定を押します。

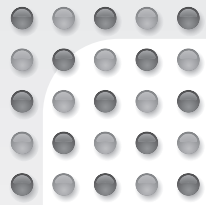
変換後のデータを保存するための空き容量がない場合、「画質変換」は表示されません。

4 必要に応じて、録画データの保存ドライブを変更します。

◎で「ドライブ」を選択し、決定を押します。ウィンドウが表示されたら◎でCドライブかDドライブかを選択し、決定を押します。

5 画質モードを選択します。

◎で「画質モード」を選択し、決定を押します。ウィンドウが表示されたら◎で画質モードを選択し、決定を押します。

6 ◎で「開始」を選択し、決定を押します。

7 ◎で「はい」を選択し、決定を押します。

変換が開始されます。そのまましばらくお待ちください。

録ったテレビ番組を削除する

ここでは、ハードディスク内の録画番組を削除する操作について説明します。
録画番組を削除すると、元に戻すことはできません。録画番組を保存したい場合は、「録ったテレビ番組をディスクに保存する」（P.50）をご覧になり、ディスクに保存してください。

1 録画番組 を押します。

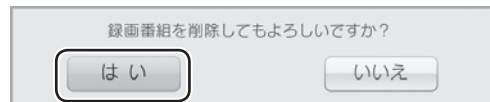
録画したテレビ番組の一覧が表示されます。

2 で削除したい録画番組を選択します。

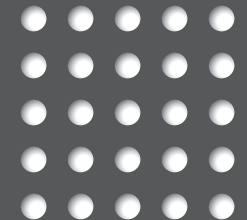
複数の番組を選択する場合は、でテレビ番組を選択し、一時停止 を押します。
選択したテレビ番組に が表示されます。
選択を解除したい場合は、もう一度 一時停止 を押します。

3 黄 を押します。

4 で「はい」を選択し、決定 を押します。

テレビ番組が削除されます。

Point テレビ番組を一括削除する場合

「すべて削除」を選択すると、録画したすべてのテレビ番組を削除できます。

第5章
困ったときのQ&A

画面がおかしい

ここでは、画面の表示や映像の状態に関するQ&Aをまとめています。

点灯したままの点や黒い点が表示される

液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります。有効ドット数[注]の割合は99.99%以上です。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。

注：有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイが表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています。

画面が表示されない

電源ランプが消灯している場合、次のような原因が考えられます。
ご確認ください。

原　因	対　処
ACケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない	ACケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 参照 ACケーブル、またはACアダプタの接続方法 『取扱説明書』
電源が入っていない	電源を入れてください。 参照 電源の入れ方 『取扱説明書』
「おやすみディスプレイ」機能を使用している	キーボードのキーを押して、画面が表示されるかどうか確認してください。 画面オフボタンを押した状態になっている場合は、もう一度画面オフボタンを押すと画面が表示されます。
画面オフボタンを押した状態にしている	
「電源オプション」の電源プランに従ってディスプレイの電源が切れている	キーボードのキーを押して、画面が表示されるかどうか確認してください。

画面の解像度が横1024ドット以上、かつ縦660ドット以上の設定でない場合、「DigitalTVbox」が起動しません。また、縦の解像度を768ドット未満に設定した場合、画面全体が表示されないことがあります。ご購入時の設定のままお使いになることをお勧めします。

「DPIスケール」ウィンドウから「カスタムDPI」をクリックし、フォントサイズを150%以上に設定した場合、「DigitalTVbox」が起動しません。

DVDが再生できない、DVDの画像が乱れる

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
ディスクが裏返しになっている	ディスクの表裏を確認してください。
ディスクが汚れている	ディスクのデータ面を柔らかい布できれいに拭いてください。
ディスクに傷がある ディスクが反っている	傷ついたディスク、反ったディスクは使用できません。他のディスクをお使いください。
ファイナライズされていない	書き込みに使う機器やソフトウェアの種類によって、互換性に違いがあります。VRフォーマットで記録されたDVDディスクは、このパソコンでは再生できない場合があります。 VRフォーマットで記録されたDVDディスクが再生できない場合は、ディスクの「ファイナライズ」を行うことで、再生できるようになる場合があります。ファイナライズの方法については、書き込みに使った機器やソフトウェアのマニュアルなどをご確認ください。

Blu-ray Discが再生できない

Blu-ray Discドライブ搭載機種のみ（P.13）

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
「WinDVD」以外のソフトウェアで再生しようとした	Blu-ray Discを再生する場合は、「WinDVD」でご覧ください。

地上デジタル放送が映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない	アンテナケーブルを正しく接続してください。 参照 アンテナケーブルの接続方法 『取扱説明書』
お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリアではない	お住まいの地域に地上デジタル放送が開局していない場合は、地上デジタル放送が映りません。 地上デジタル放送の放送エリアを確認するには、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2009年11月現在）をご覧ください。 なお、サービスエリア内であっても、地形やビルなどによって電波がさえぎられる場合や電波が弱い場合などの理由により、視聴できないことがあります。
地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナを使用していない	地上デジタル放送対応のUHFアンテナを接続してください。 参照 アンテナケーブルの接続方法 『取扱説明書』
B-CASカードが正しくセットされていない	B-CASカードが正しくセットされていないと、地上デジタル放送を見ることができません。 次のマニュアルをご覧になり、B-CASカードを正しくセットしてください。 参照 B-CASカードのセット方法 『取扱説明書』
ケーブルテレビの伝送方式が対応していない	ケーブルテレビで地上デジタル放送をご利用になる場合、ケーブルテレビ会社によりデータの伝送方式が異なります。 このパソコンが対応している伝送方式は、同一周波数パススルー方式と周波数変換パススルー方式です。 伝送方式をご契約のケーブルテレビ会社にご確認ください。
チャンネル設定が地域と合っていない	地上デジタル放送で地域を設定するとき、実際にお住まいの地域とは別の場所を設定したほうが良い場合があります。選択可能な地域の中からお近くの地域を試しに設定し、放送局とチャンネルが普段ご利用の状況に最も適合するものを選択してください。 地域の設定は、「DigitalTVbox」の「トップメニュー」→「設定」→「テレビ設定」→「地上デジタル」→「チャンネルスキャン（地上デジタル）」の順に選択して行ってください。 詳しくは、「DigitalTVbox 取扱説明書」をご覧ください。 参照 「DigitalTVbox 取扱説明書」 （スタート）→「すべてのプログラム」→「PIXELA」→「DigitalTVbox」→「DigitalTVbox 取扱説明書」→「各種設定」→「テレビ設定」→「［地上デジタル］の設定」の順にクリック

地上デジタル放送の一部のチャンネルが映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
電波が弱い	アンテナの受信レベルを画面で確認しながら受信レベルが60前後（またはそれ以上）になるように、アンテナの向きの調整や、アッテネーター機能の設定を変更してください。 アンテナの受信レベルの確認方法などについては、「受信レベルのテスト」（→P.19）をご覧ください。

地上デジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
UHF アンテナの向きが違う	デジタル放送の送信塔の方向が現在のアナログ放送と異なる場合は、アンテナの向きを変えてください。
電波が弱い	アンテナの受信レベルを画面で確認しながら受信レベルが 60 前後（またはそれ以上）になるように、アンテナの向きの調整や、アッテネーター機能の設定を変更してください。 アンテナの受信レベルの確認方法などについては、「受信レベルのテスト」（→P.19）をご覧ください。
アンテナケーブル、またはアンテナ変換ケーブルの接続がゆるい	アンテナケーブルがパソコン本体のコネクタにしっかり接続されているか確認してください。 また、アンテナケーブルはノイズの入りにくいネジ式 F 型コネクタのものをお使いください。
分配器を使用していることで電波が弱くなっている	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。
分波器を使用していない	BS・110 度 CS デジタル放送とアンテナ線が混合している環境の場合は、分波器をお使いください。
他のソフトウェアが動作中	次の例のように、他のソフトウェアの動作状況に影響される場合があります。 ●セキュリティ対策ソフトがウイルススキャンを行っているとき ●他のソフトウェアの起動・終了時

BS・110度CSデジタル放送が映らない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない	アンテナケーブルを正しく接続してください。 参照 **アンテナケーブルの接続方法** 『取扱説明書』
BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナを使用していない	BS・110 度 CS デジタル放送を見るには、BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナや、ブースター、ケーブルなどが必要です。 参照 **接続方法を確認する** 『取扱説明書』
アンテナ電源が供給されていない	BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナを個人で設置している環境の場合、本製品にアンテナ電源を供給する必要があります。 アンテナ電源について詳しくは、「BS・110 度 CS デジタル放送用アンテナへの電源供給について」（→P.30）をご覧ください。
有料放送の申し込みをしていない	有料放送の番組を見るには、別途申し込みをする必要があります。詳しくは、各放送局にお問い合わせください。
B-CAS カードが正しくセットされていない	B-CAS カードが正しくセットされていないと、BS・110 度 CS デジタル放送を見ることができません。 次のマニュアルをご覧になり、B-CAS カードを正しくセットしてください。 参照 **B-CAS カードのセット方法** 『取扱説明書』
他のソフトウェア動作中	次の例のように、他のソフトウェアの動作状況に影響される場合があります。 ●セキュリティ対策ソフトがウイルススキャンを行っているとき ●他のソフトウェアの起動・終了時

BS・110度CSデジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
雨、強風などの悪天候により、アンテナが揺れたり、電波が弱くなったりしている	BS・110度CSデジタル放送は、雨、雪、雷雲などの悪天候により、衛星からの電波が弱くなることがあります。天候の回復を待ってください。また、このとき録画した番組は、正常に再生できないことがあります。
電波が弱い	アンテナの受信レベルを画面で確認しながらアンテナの向きを調整してください。アンテナの受信レベルの確認方法については、「受信レベルのテスト」（➔P.19）をご覧ください。アンテナを調整しても受信レベルが改善されない場合は、アンテナ工事業者やお近くの電気店にご相談ください。
アンテナケーブルの接続がゆるい	アンテナケーブルがパソコン本体のコネクタにしっかり接続されているか確認してください。また、アンテナケーブルはノイズの入りにくいネジ式F型コネクタのものをお使いください。
分配器を使用していることで電波が弱くなっている	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。
	アンテナケーブルをパソコン本体に直接接続してください。

「マイリカバリ」を実行したら、録画番組が表示されなくなった

「マイリカバリ」を使用して「ディスクイメージの復元」を実行すると、Cドライブに保存されている「録画情報」データもディスクイメージ作成時の状態に戻ります。そのため、ディスクイメージ作成後に録画した番組は、「DigitalTVbox」の「録画番組」画面に表示されなくなることがあります。
このような場合は、「マイリカバリ」実行後に「録画情報管理ツール」を使用することで、すべての録画番組が表示されるように復元できます。
詳しくは、「録画情報管理ツール取扱説明書」をご覧ください。

参照　「録画情報管理ツール取扱説明書」

（スタート）→「すべてのプログラム」→「PIXELA」→「録画情報管理ツール」→「録画情報管理ツール取扱説明書」の順にクリック

音が聞こえない／変な音が聞こえる

ここでは、音声の状態に関するQ&Aをまとめています。

スピーカーから音が聞こえない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
音量が小さすぎる	リモコンの音量ボタン（➔P.22）で音量を調節してください。
パソコン本体にヘッドホンが接続されている	パソコン本体にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。
USBオーディオ経由で音声を出力している	「DigitalTVbox」は、USBオーディオへの音声出力は対応していません。パソコン本体のスピーカーや、ヘッドホン・ラインアウト兼用端子などに接続したスピーカーを使用してください。
音声出力をAACに設定している	「DigitalTVbox」の「トップメニュー」→「設定」→「テレビ設定」→「デジタル音声設定」の順に選択し、「音声出力」を「AAC（ダウンミックスしない）」に設定している場合、パソコン本体のスピーカーからは音声が出力されません。

雑音が聞こえる

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
パソコンの近くで電波を発生する装置（携帯電話、PHSなど）を使用している	故障ではありません。携帯電話、PHSなどをパソコンから離してお使いになるか、使用をおやめください。
受信できないチャンネルを選択した	他のチャンネルを選択してください。（➔P.22）

操作が効かない

ここでは、リモコン、双方向サービス、スリープや休止状態に関するQ&Aをまとめています。

リモコンが効かない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換してください。 参照 **リモコンの乾電池の入れ方** 『取扱説明書』
リモコンの電池の使用推奨期限が過ぎている	電池には使用推奨期限が明記されています。使用推奨期限を確認してください。使用推奨期限が過ぎていると、正常に動作しないことがあります。
リモコンの電池が正しい向きに入っていない	電池の極性（＋－）を正しい向きにして入れてください。電池が正しい向きに入っていないと、リモコンは動作しません。 参照 **リモコンの乾電池の入れ方** 『取扱説明書』
ACケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない	ACケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 参照 **ACケーブル、またはACアダプタの接続方法** 『取扱説明書』
リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている	パソコンの向き、設置場所を変えてください。
リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない	リモコン受光部の使用可能範囲内で、リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。 参照 **リモコン受光部の使用可能範囲** 『取扱説明書』
リモコンからの命令をパソコンが正しく受信していない	リモコンがリモコン受光部に正しく向いていなかったり、リモコンとパソコンの間に障害物などがあったりすると、リモコンは正しく動作しません。 参照 **リモコンをお使いになる場合の注意** 『取扱説明書』

原　因	対　処
リモコンマネージャーが起動していない注	リモコンをお使いになる場合は、「リモコンマネージャー」が起動している必要があります。画面右下の通知領域にある（隠れているインジケーターを表示します）をクリックし、が表示されているかどうか、確認してください。表示されていない場合は、（スタート）→「すべてのプログラム」→「リモコンマネージャー」→「リモコンマネージャー」の順にクリックします。通知領域の隠れている部分に、が表示されたことを確認してください。 また、パソコンのセットアップ時に「必ず実行してください」を実行していないと、リモコンマネージャーが正常に動作しないことがあります。デスクトップに（必ず実行してください）が表示されている場合は、クリックして「必ず実行してください」の処理を終了してください。
リモコンマネージャーがインストールされていない注	リカバリなどを行った後に、リモコンマネージャーがインストールされていないと、リモコンを使用できません。 参照 **ソフトウェアのインストール方法** Web『補足情報』

注：「DigitalTVbox」、「WinDVD」、「G-GUIDE」、「おすすめコンテンツメニュー」をお使いになる場合

予約録画に失敗する

次のような原因が考えられます。ご確認ください。
なお、「録画番組」画面（→P.48）で番組を選択し、「録画番組詳細」画面に表示される「録画失敗理由」もあわせてご確認ください。

原　因	対　処
予約番組の前に放送されていた番組が延長され、番組の開始時刻が遅れたために、次の予約が優先された	「録画失敗理由」に「この番組は、別の予約録画を優先して実行したため、録画に失敗しました。」または「予定されていた番組が中止されたため、録画に失敗しました。」と表示されます。 予約内容は、番組編成の変更には追従できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
スポーツ中継の延長や、雨天などにより、予約番組の放送が中止された	（同上）
パソコンを強制終了したために、「PowerUtility」が予約時刻に起動していない	「録画失敗理由」に「この番組は、予約実行時間にアプリケーションが起動していなかったため、録画に失敗しました。」と表示されます。電源ボタンを4秒以上押し続けてパソコンを強制終了すると、予約録画の時間になってもパソコンが自動起動せず、予約録画されません。強制終了した場合は、再度パソコンの電源を入れて、（スタート）→ シャットダウン の順にクリックし、電源を切ってください。

原　因	対　処
クイックメニューから「DigitalTVbox」を終了した	「録画失敗理由」に「この番組は、予約実行時間にアプリケーションが起動していなかったため、録画に失敗しました。」と表示されます。クイックメニューから「DigitalTVboxの終了」を選択した場合は、「DigitalTVbox」が完全に終了するため、予約録画されません。予約録画を行う場合は、リモコンの 終了 を押すか、マウスで （待機モード）をクリックし、「DigitalTVbox」を待機状態（ ）にしてください。
ログオフ画面からシャットダウンした	「録画失敗理由」に「この番組は、予約実行時間にアプリケーションが起動していなかったため、録画に失敗しました。」と表示されます。 （スタート）→ シャットダウン の →「ログオフ」の順にクリックし、ログオフ後に表示される画面から をクリックしてシャットダウンした場合は、予約を行ったユーザーでログオンが行われないため、予約録画されません。予約を行ったユーザーでログオンし直し、ログオフしないで電源を切ってください。
予約時刻にWindows Updateが行われた	テレビ番組の録画中に、Windows Updateが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。テレビ番組の録画時間とWindows Updateの自動更新の実行時刻が重ならないようにしてください。Windows Updateの自動更新の設定は、 （スタート）→「すべてのプログラム」→「Windows Update」の順にクリックし、「設定の変更」をクリックして表示される画面で、確認、変更できます。
時刻設定が合っていない	「DigitalTVbox」で予約録画するときは、パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。パソコンの時刻合わせについて、詳しくは、「パソコンの時刻合わせ」（→P.41）をご覧ください。
スリープ・休止状態からの復帰ができなかった	「スリープ解除タイマーの許可」を「無効」にしていると、スリープ・休止状態から予約録画されません。 （スタート）→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「電源オプション」→「プラン設定の変更」→「スリープ」の順にクリックし、「スリープ解除タイマーの許可」の中の項目が「有効」になっているかどうか確認してください。

デジタル放送の双方向サービスが利用できない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
有線LANに接続していない	デジタル放送の双方向サービスを利用するには、有線LANに接続している必要があります。 また、「DigitalTVbox」の「トップメニュー」→「設定」→「通信設定」の順に選択し、「インターネット接続設定（LAN）」を設定する必要があります。 「インターネット接続設定（LAN）」→「ネットワーク選択」では、Bフレッツ、フレッツADSLでONUやADSLモデムをパソコンに直接接続している場合は「WANミニポート（PPPOE）」を、それ以外の場合は有線LANのアダプタ名（「Intel (R) 825. .」や「Marvell Yuko. .」など）を選択してください。 詳しくは、「DigitalTVbox 取扱説明書」をご覧ください。 参照 「DigitalTVbox 取扱説明書」 （スタート）→「すべてのプログラム」→「PIXELA」→「DigitalTVbox」→「DigitalTVbox 取扱説明書」→「各種設定」→「通信設定」の順にクリック

スリープや休止状態にならない

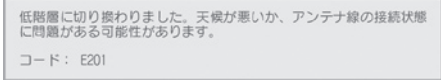
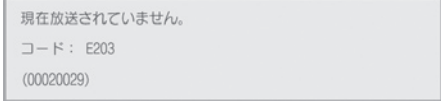
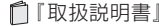
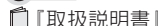
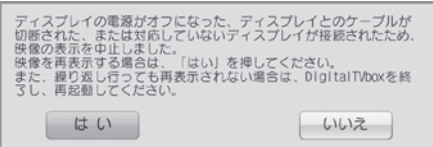
次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
デジタル放送の番組情報データを取得中の状態である	番組情報の取得中は、自動的にスリープや休止状態になりません。画面右下の通知領域にある をクリックし、表示される「DigitalTVbox」アイコンが受信状態表示（ ）のとき、全チャンネルの番組情報が自動的に取得されます。受信中は自動的にスリープや休止状態にはなりません。自動的にスリープや休止状態にする場合は、次の手順に従って番組情報自動取得を「しない」に設定します。 1.「DigitalTVbox」を起動します。 2. メニュー を押します。 メニュー画面が表示されます。 3. で「設定」を選択し、決定 を押します。 4. で「テレビ設定」を選択し、決定 を押します。 5. で「その他」を選択し、決定 を押します。 6. で「番組情報自動取得」を選択して 決定 を押し、 で「しない」を選択して 決定 を押します。 以上で設定は終了です。

「G-GUIDE」でインターネットから最新の番組表を取得できない

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
インターネットに接続していない	最新のテレビ番組情報を取得するには、インターネットに接続している必要があります。パソコンがインターネットに接続しているかどうか、確認してください。
セキュリティ対策ソフトのファイアウォールの設定をご購入時の状態から変更している	セキュリティ対策ソフトのファイアウォールの設定をご購入時の状態から変更しており、「G-GUIDE」の通信が遮断されていることが考えられます。セキュリティ対策ソフトの使い方については、次のマニュアルをご覧ください。 **参照 「ノートン インターネットセキュリティ」のマニュアル** →「ノートン・インターネットセキュリティ」の画面から、「ヘルプとサポート」→「ヘルプ」の順にクリック **参照 「ウイルスバスター」のマニュアル** →「ウイルスバスター」の画面から、「ヘルプとサポート」→「ヘルプ」の順にクリック **参照 各セキュリティ対策ソフトのお問い合わせ窓口** 各セキュリティ対策ソフトについては、開発元にお問い合わせください。お問い合わせ先は、次のマニュアルをご覧ください。 『取扱説明書』
プロキシ設定が正しくない	「G-GUIDE」の画面で「ファイル」メニュー→「最新データ受信」の順にクリックすると、「番組データ更新アシスタント」ウィンドウが表示されます。このウィンドウで「プロキシ設定」をクリックすると、「プロキシの設定」ウィンドウが表示され、番組データを取得するときのプロキシ設定（「Internet Explorerのプロキシ設定を使用」／「プロキシサーバを使用しない」）を設定できます。 「G-GUIDE」から「Internet Explorer」のプロキシ設定を使用する場合は、あらかじめ「Internet Explorer」でプロキシ設定を行い、その設定でインターネット接続ができることを確認してください。「Internet Explorer」でプロキシ設定を行うには、ツールバーの「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」タブ→「LAN の設定」の順にクリックし、「プロキシサーバー」の各項目を設定してください。 なお、この「自動構成」の各項目が設定されていて、その設定でインターネット接続ができていない場合、「G-GUIDE」の「プロキシの設定」ウィンドウで「Internet Explorerのプロキシ設定を使用」は選択できません。その場合は、「自動構成」の各項目が正しく設定できているか確認してください。

メッセージが表示される

ここでは、メッセージが表示された場合の対処方法をまとめています。

「DigitalTVbox」でメッセージが表示される

表示されるメッセージから、次のような原因が考えられます。ご確認ください。

<table>
<tr><th>原　因</th><th>対　処</th></tr>
<tr><td>低階層に切り換わりました。天候が悪いか、アンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。
コード： E201</td><td rowspan="3">天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。
参照 アンテナケーブルの接続方法
『取扱説明書』</td></tr>
<tr><td>信号が受信できません。天候が悪いか、アンテナ線の接続状態に問題がある可能性があります。
コード： E202</td></tr>
<tr><td>放送波、録画番組内にデータエラーが検出されました。正常に受信できません。
天候を確認ください。激しい雨、雷雨など天候が問題なければ、アンテナレベルが60以上かアンテナ接続を確認ください。</td></tr>
<tr><td>接続アンテナのショートを検出しました。アンテナとの接続を確認して下さい。
コード： E209
はい</td><td>アンテナとパソコンの接続に問題があります。
古いアンテナやケーブルを使用している場合にこのメッセージが表示されることがあります。</td></tr>
<tr><td>現在放送されていません。
コード： E203
(00020029)</td><td>このチャンネルは現在、放送休止中です。
チャンネルを変えるなどして、他の番組をお楽しみください。</td></tr>
<tr><td>このチャンネルは存在しません。
コード： E204</td><td>存在しないチャンネルが選択されています。
チャンネル番号が間違っていないか、確認してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>原　因</th><th>対　処</th></tr>
<tr><td rowspan="2">このB-CASカードは使用できません。正しいB-CASカードを装着してください。</td><td>B-CAS カードが正しくセットされているかどうかを、次の方法で確認してください。
参照 B-CASカードのセット方法
『取扱説明書』
1. B-CASカードの向き、表裏が正しいか確認します。
2.「DigitalTVbox」を起動します。
3.「トップメニュー」→「設定」→「機器情報」→「B-CASカード情報」の順に選択し、20桁の数字（カードID）が表示されれば、B-CASカードは正しくセットされています。</td></tr>
<tr><td>B-CASカードをセットし直しても、20桁の数字（カードID）が表示されない場合、パソコンになんらかの問題が発生していますので、故障・修理受付窓口にご相談ください。
参照 故障・修理受付窓口
『取扱説明書』</td></tr>
<tr><td>ディスプレイの電源がオフになった、ディスプレイとのケーブルが切断された、または対応していないディスプレイが接続されたため、映像の表示を中止しました。
映像を再表示する場合は、「はい」を押してください。
また、繰り返し行っても再表示されない場合は、DigitalTVboxを終了し、再起動してください。
はい　いいえ</td><td>著作権保護技術で暗号化されたデジタル映像が表示されているときにHDMI機器の画面に切り換えると、このメッセージが表示されます。メッセージが表示されたあと、「DigitalTVbox」の画面表示は終了しますが、録画中の場合は画面表示を終了したまま録画は続行されます。「はい」を選択すると、「DigitalTVbox」の画面表示を再開することができます。 HDMI機器の画面に切り換える際は、あらかじめ画面右上に表示される をクリックして「DigitalTVbox」を待機状態にしてください。また「G-GUIDE」も終了してから作業をしてください。</td></tr>
</table>

BSデジタル放送で、NHKの受信料支払いに関するメッセージが表示される

次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原　因	対　処
NHKと受信契約をしていない	NHKと受信契約をすると、メッセージ画面が表示されなくなります。受信契約をする場合は、電話でお申し込みください。

索引 INDEX

テレビ操作ガイド
B6FJ-3491-01-00
発 行 日　2010年1月
発行責任　富士通株式会社
〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター
Printed in Japan

ア 0912-1

テレビ操作ガイド

FUJITSU

T4988618665001

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収･リサイクルにお出しください。

B6FJ-3491-01